

# 事業報告書

2021（令和3）年度

社会福祉法人 愛 光



## 回顧と展望

### 「法人の進化と地域の回復」

○スローガンを「法人の進化と地域の回復」とした2021年度からの3ヶ年の第IV期中期経営計画は、「平成の愛光」をブラッシュアップした「令和の愛光」を作りあげる基礎となる期間とした。社会福祉法人は、地域福祉の維持・向上が存在意義であり、目的である。その目的達成のために、経営基盤の強化、サービスの質の向上、事業経営の透明性の確保を図る経営が必要となる。策定にあたっては「ガバナンスの強化」「自立経営」「地域貢献」「人材育成」を4つの柱とする法人の基本計画と各事業所の戦略目標の達成状況の把握を定期的に行い計画の見直しも随時実施することとする。

その初年度となる当年度は、6月に行われた理事会、評議員会にて4名の業務執行理事が退任し、新たに3名が業務執行理事となり7月から新たな執行体制がスタートとなった。

○執行体制における分担は、「人事・総務」「財務」「コンプライアンス」「事業開発」である。しかし、法人経営を考えた場合、重要となるのが強い事業部体制の構築である。総合的な福祉サービスのビジョンを掲げ、障害・高齢・子ども・地域と複数分野に及ぶ事業展開は、制度、経営、職員育成、労働環境の整備、内部統制、労務管理など、その事業におけるビジョンに違いがあり、その目的を法人として明確にする必要がある。それぞれの事業形態や特色に事業部を分けることで役割や方向性を明確にし、独自性や特色を生かしながら本部を中心に連携することが重要と考える。事業部長を中心とした組織強化を図ることとし、そのための第IV期中期経営計画3ヶ年の重点項目を事業部体制の強化とした。

○7月からスタートした執行体制にともない、事業部体制の再編も行っている。「法人本部・障害者支援事業部・高齢者福祉事業部・地域福祉事業部」の以前の4事業部体制を細分化し、障害者支援事業部から拠点とサービスを分けた「佐倉圏域事業部」、業種では専門職部門の「健康管理部」を創設し、6事業部体制とした。新設した2事業部の内容は以下のとおりである。

#### 《佐倉圏域事業部》

- ・佐倉圏域事業部は、就労継続支援B型事業の「佐倉市よもぎの園」、「ワークショップかぶらぎ」、障害者グループホーム「ジョーの家」を中心に地域生活支援拠点の構築を将来ビジョンとする。第V期中期経営計画の3ヶ年で、圏域内の相談事業の設置と障害者対象のグループホーム、多機能型事業創設を視野にニーズ調査等を踏まえ検討する。
- ・佐倉圏域の事業は、障害福祉サービス（居宅系サービス）を主とするため、圏域内の地域公益活動は他法人の高齢事業や包括支援センター、NPO法人との連携を視野に入れた地域作りを行う。事業あるところに地域貢献事業を行うという原則から、将来的に「佐倉圏域のともいき事業」を考えていく。
- ・当年度は、ワークショップかぶらぎの職員1名を佐倉市社会福祉協議会への出向を実施した（2021年7月～2022年3月）。地域福祉の活動主体である市社協や地区社協との繋がりを強化することにより日常生活圏域での支えあいサービスや買い物支援、災害時支援、こども食堂支援などに発展させていきたい。

#### 《健康管理部》

- ・以前まで各事業部に配属となっていた専門職（看護師、栄養士、マッサージ師）を統合し事

業部の垣根を越えて一体的に法人事業に関わることで専門職としての強みを最大限に生かしていく。この多職種連携の目的は、各事業部との連携による専門的知見による法人内研修の計画策定、地域事業への活用へと発展することを期待する。

- ・ 当年度は、管理栄養士が児童センターでの乳幼児栄養講座や学生実習での食生活講座を実施、障害者施設での高齢化対応として、包括支援センターの理学療法士による身体機能のアセスメントとケア方法、ポジショニングの評価を行った。また、外部からは言語聴覚士による嚥下診断を実施した。前年度までは見られなかった多職種連携の取組はサービスの質の向上や職員育成にとって大きな効果となると思われる。
  - ・ マッサージ部門である「愛光健康堂」については、新たに千葉盲学校理療科の卒業生を雇用了。コロナ禍での休止や利用制限があったため、高齢事業のデイサービスでのマッサージ業務に止まったが、今後はアフターコロナを見据え南部地域福祉センターなど地域向けサービスにも業務を拡大していきたい。
  - ・ コロナ禍のなか、事業部として対応ガイドラインを作成し検討、決定したことで大きな混乱もなく、各事業所ともに統一した対応ができたことは評価できる。特に緊急事態宣言が発令した最中でもPCR検査キットをストックし、養成校の学生に事前の検査を条件に実習の受入れを行うことができたことは、実習に苦勞していた学生にとって、または福祉人材の養成を担う社会福祉法人として必要最低限のことができたと自負している。医師と看護師、健康管理部と各担当部署との連携が有事のなかでも通常の運営ができた成功事例となった。
- 事業部体制強化のなかで、7月に会議体制も刷新した。前年度まで行っていた施設長会議を廃止、各事業部単位での会議(毎月実施の実績会議)とし、制度や種別に沿ったサービス内容の検討や課題抽出をすることと総務課が出席し月次の収支報告を実施した。各事業部での会議内容については、業務執行会議にて情報共有を図り、事業部間連携や法人の決定項目の精査に有効であった。
- プロジェクトについては、理事長の諮問機関としての位置づけであった。検討内容の精査が不十分であり、責任者によって達成度に差があった。その要因は、プロジェクト発足の根拠が薄かったことと必要とするコンサル等の外部機関の導入がなく内部のみの検討であったことである。今後は、諮問機関ではなく、中計項目達成のためのチームとして取組んでいく。
- 当年度のプロジェクト発足の根拠は、法人の第Ⅳ期中期経営計画である。目標達成のための7つのPTを発足し、当年度の成果は以下のとおりである。
- ・ ともいきPT ⇒ 山王自治会住民アンケート調査実施。
  - ・ ICT活用PT ⇒ ソフト更新の高齢事業、障害事業ともにソフト更新の年度であった。高齢事業は新たに記録ソフトの入れ替えを行った。機器導入については活用見送り。当年度をもってPTは廃止とする。
  - ・ 内部統制PT ⇒ 各拠点の業務フローの作成。
  - ・ 災害対策PT ⇒ 災害対応マニュアル(案)が完成。
  - ・ 財務PT ⇒ 月次試算表早期化実施、購買非現金化システム構築。
  - ・ 人材育成PT ⇒ 階層別育成システム骨子完成。
  - ・ はちす苑経営改善PT ⇒ 機能別採算制構築(特養・デイサービス)。

(2022年5月 理事長：西原弘明)

# 2021（令和3）年度 事業報告

---

## 目 次

---

I. 法人本部	
I－1 法人本部	1
II. 健康管理部	
II－1 健康管理部	17
III. 障害者支援事業部	
III－1 ルミエール	33
(障害者支援施設)	
III－2 めいわ	40
(障害者支援施設)	
III－3 リホープ	53
(障害者支援施設)	
III－4 日中活動	64
(障害者支援事業部)	
III－5 山王の家	65
(共同生活援助)	
IV. 佐倉圏域事業部	
IV－1 佐倉市よもぎの園	69
(就労継続支援B型)	
IV－2 ワークショップかぶらぎ	75
(就労継続支援B型/自立訓練)	
IV－3 ジョーの家	82
(共同生活援助)	

V. 高齢者福祉事業部

V-1 はちす苑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

VI. 地域福祉事業部

VI-1 南部児童センター／学童保育所・・・・・・・・・・・・ 99

VI-2 総合相談センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107

(アシスト/佐倉市南部地域包括支援センター)

VI-3 南部地域福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116

# I . 法 人 本 部



## 本部

## 概況

当年度より、第Ⅳ期中期経営計画（2021年度～2023年度）が開始された。3年間の法人スローガンは、『法人の進化と地域の回復』である。中期経営計画は「自立経営」「ガバナンスの強化」「地域福祉」が3つの柱となっている。計画を進めていくために、7月より法人の組織体制が変更され、あらたに、「佐倉圏域事業部」「健康管理部」が創設された。また、中期経営計画の進捗状況を検証し、必要な見直しをしていくため、各事業部での実績会議および業務執行会議が毎月開催された。

本部が当年度、重点的に取り組んだ項目は、次の通りである。

## ○地域との連携・協働

コロナ禍のため、毎年10月に開催される「愛光秋まつり」は2年続けて中止となる。近隣の小・中学校の福祉学習のために学校を訪問するができず、また、地域福祉委員会やまちづくり協議会等、地域の会議の開催もほとんど行われなかった。コロナ禍で、どのように地域との繋がりを維持できるのか、どのような方法、やり方が考えられるのか、大きな課題となる。地域の状況、社協の取組み、地域福祉の方法等について研修し今後の事業展開に活かしていく目的で、職員1名が佐倉市社会福祉協議会に出向した（7月1日から令和4年3月31日まで）。

## ○採算性の検証

各事業部の実績会議の日程にあわせて試算表を作成し、試算表をもとに、実績会議で検討が行われた。試算表作成の早期化のため、フィンテックの活用を含め、業務手順の見直し等を行った。

## ○広報活動体制の強化

当年度リニューアルしたホームページだが、内外より好評の声をいただいている。ブログページを充実させたことにより各事業所からの発信が活発に行われるようになった。多くの方に見ていただけるよう更なる活性化をはかりたい。人材確保・競合先との差別化・地域コミュニティの関係づくり、営業等々、目に見えぬ部分ではあるが効果は高い。

## ○人材確保と離職防止策の実施

人事採用について、新卒採用は3名であった。昨年度、コロナ禍で実習生・インターンシップの受け入れが難しく、また、他団体開催の就職説明会が開催されなかったことが影響していると思われる。コロナ禍でも実習が行えるよう、実習生等のPCR検査を実施し、受け入れに努めた。

前年度	インターンシップ	6名	実習生	48名
当年度	インターンシップ	27名	実習生	109名

## ○ICT化

グループウェアソフトの導入を本部より始め、スケジュールの管理・共有やワークフローの時間削減、ペーパーレス化を進めた。また日用品購入では購買支援業務サービスの導入準備が完了した。

## ○（福）千葉県視覚障害者福祉協会との連携

視覚障害のある職員の研修等の受け入れなど、協力をお願いした。必要な情報交換を行い、連携を行った。

（本部長 池田 浩一）

## 1 2021（令和3）年度実績

### （1）財務（単位：百万円）

	令和3年度	前年	増減	法人本部	障害者支援事業部	佐倉圏域事業	高齢者福祉事業	地域福祉総合事業	地域福祉指定管理	視覚障害者無償貸与
サービス活動収益	2,014	1,997	17	0	1,139	138	443	77	195	0
経常増減差額	△25	△14	△11	△100	99	2	△33	△3	19	△11
経常増減差額比率（%）	△1.3	△0.7	△0.6		8.7	1.2	△7.5	△3.6	9.8	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

### （2）個別運営実績

経営改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅳ期中期経営計画の実行開始</li> <li>・大規模修繕計画の実行開始</li> </ul>
事業運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部統制構築推進（本部・各事業所 巡回指導監査実施）</li> </ul>
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>《まちづくりへの協力》</li> <li>・地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置）</li> <li>・地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会）</li> <li>《その他の地域貢献・交流活動》</li> <li>・地域食堂ともいき</li> <li>・佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス</li> <li>・城の辺地区社協買い物支援協力</li> <li>・小学生書き初め展</li> <li>・ボランティアの育成</li> <li>・地域防災～「福祉避難所」</li> </ul>
設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルミエール・めいわ 浴室、給湯工事</li> <li>・視障センター エレベーター更新工事</li> <li>・はちす苑 ルームエアコン改修、地下ピット水抜き工事</li> <li>・おひさま 各所扉修繕工事</li> </ul>
後援会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリーあいこう</li> <li>・地域お祭りへの支援</li> <li>・子ども食堂の支援</li> <li>・小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会）</li> </ul>

(3) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築PT	巡回指導監査検証 外部監査導入準備	巡回指導監査実施(本部・各事業所) 検証継続 各拠点の業務フロー作成
ともいきPT	地域共生事業の検討 地域包括ケアシステムの構築	地域食堂の継続 山王自治会住民アンケート調査実施
防災対策PT	事業継続計画(風水害)の見直し 災害時備蓄品の整備	災害対応マニュアル(案)完成 災害時備蓄品の整備
ICT活用PT	業務効率化の推進	ソフト更新(高齢、障害)記録ソフト 入れ替え(高齢)
人材育成PT	人事制度課題整理 法人研修制度の充実	階層別育成システム骨子完成
財務PT	法人内財務分析 各事業健全経営の提案 資金運用計画策定	月次試算表早期化実施 購買非現金化システム構築
高齢事業検証PT	高齢福祉事業部経営改善提案	機能別採算性構築

2 事業の現況(2021年3月31日現在)

(1) 佐倉事業所(所在地/千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】障害者支援施設 【定員】生活介護・施設入所支援60名 【認可】2007(平成19)年11月1日	大里英巳
	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】併設型3名 【認可】2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2006(平成18)年10月1日	
めいわ	第一種事業	【種別】障害者支援施設 【定員】生活介護80名(めいわ56名・根郷通所24名) 施設入所支援56名(めいわ) 【認可】2008(平成20)年8月1日	片野明美
	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】併設型4名(+空床利用) 【認可】2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2006(平成18)年10月1日	

リホープ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	中川光男
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 併設型 2 名（＋空床利用） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	

(2) 佐倉太田事業所（所在地／千葉県佐倉市太田 1145-1）

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】 特別養護老人ホーム 【定員】 54 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	麻生知明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】 老人短期入所事業 【定員】 併設型 20 名（及び空床型） 【認可】 2000（平成 12）年 1 月 1 日	
		【種別】 共生型短期入所事業 【定員】 6 名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 9 月 1 日	
デイサービス はちす苑		【種別】 老人デイサービス事業 【定員】 35 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】 共生型生活介護事業 【定員】 35 名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 7 月 1 日	
		【種別】 老人居宅介護等事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	
ケアプラン はちす苑	【種別】 居宅介護支援事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	麻生知明	

(3) 佐倉宮前事業所（所在地／千葉県佐倉市宮前 2-13-1）

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型） 【定員】 40 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	戸室輝大

(4) 佐倉鎗木町事業所（所在地／千葉県佐倉市鎗木町 352-2）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型） 【定員】 14 名 【認可】 2015（平成 27）年 6 月 1 日	近藤美貴
		【種別】 障害福祉サービス事業（自立訓練〈生活訓練〉） 【定員】 6 名 【認可】 2015（平成 27）年 6 月 1 日	

## (5) 佐倉城事業所 (所在地/千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 4名 【認可】 2009 (平成 21) 年 4 月 1 日	安部一義

## (6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地/千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター	第二種事業	【種別】 児童センター 【受託】 2014 (平成 26) 年 4 月 1 日	長岡陽子
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種事業	【種別】 学童保育所 【受託】 2014 (平成 26) 年 4 月 1 日	
佐倉市南部 地域福祉センター	公益事業	【種別】 地域福祉センター 【受託】 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	横川民夫
総合相談 センター	公益事業	【種別】 地域包括支援センター (業務委託) 【認可】 2009 (平成 21) 年 4 月 1 日	森由美子
	第二種事業	【種別】 障害者相談支援事業 (一般・特定相談) (業務委託) 【受託】 2002 (平成 14) 年 4 月 1 日	

## (7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 10名 【認可】 2017 (平成 29) 年 11 月 1 日	高梨和憲

### 3 理事会・評議員会

#### (1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (302回)	6月5日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 10名 監事 2名	0名	2020(令和2)年度事業報告について 2020(令和2)年度決算報告について 監事監査報告 役員改選について 管理職員人事について 評議員選任・解任委員会の外部委員の選任について
第2回 (303回)	6月20日 (日)	愛光本館 第1会議室	理事 9名 監事 2名	0名	理事長選定について 業務執行理事選定について 副理事長及び総括施設長選定について 理事等の担当区分について 会長職について 管理職員人事の昇格について 諸規程の改正について
第3回 (304回)	9月25日 (土)	愛光本館 第一会議室	理事 9名 監事 1名	1名	業務報告
第4回 (305回)	11月27日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 8名 監事 2名	1名	2021(令和3)年度第一次補正予算について 2021(令和3)年度第2回(通算第69回)評議員会 招集について
第5回 (306回)	1月22日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 9名 監事 2名	0名	2022(令和4)年度理事会議決事項契約について 諸規程の改正について
第6回 (307回)	3月19日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 9名 監事 2名	0名	2021(令和3)年度 第2次補正予算案について 2022(令和4)年度 事業計画案、予算案について 諸規程の改正について 2021(令和3)年度第3回(通算第70回)評議員会 招集について

※( )内は通算回数

#### (2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (68回)	6月20日 (日)	愛光本館 第1会議室	12名	1名	2020(令和2)年度事業報告 2020(令和2)年度決算報告
第2回 (69回)	12月11日 (土)	愛光本館 第1会議室	11名	1名	2021(令和3)年度第1次補正予算について
第3回 (70回)	3月27日 (日)	愛光本館 第1会議室	11名	1名	2021(令和3)年度 第2次補正予算案について 2022(令和4)年度 事業計画案、予算案について

※( )内は通算回数

## (3) 理事・監事・顧問

任期/2021年6月20日～2023年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長	西原 弘明	総括施設長	法人職員
副理事長	河野 尋幸	元行政関係者	地域の福祉関係者
業務執行理事	池田 浩一	愛光 事務局長	法人職員
〃	中川 光男	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
〃	安部 一義	愛光 高齢者福祉事業部長	法人職員
〃	横川 民夫	愛光 地域福祉事業部長	法人職員
理事	酒井綱一郎	元会社取締役	地域の福祉関係者
〃	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
〃	松山 毅	大学 前任准教授	社会福祉事業の学識経験者
監事	滑川 里美	社会福祉士事務所 所長	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
会長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 元会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	元市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

## (4) 評議員

任期/2021年6月20日～2025年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員	青木 隆一	千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課課長	行政経験者
〃	足立 元秀	元地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
〃	石毛 滋之	愛光家族協議会会長	利用者の家族の代表
〃	小川 雅夫	千葉県総合教育センター教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
〃	長田 研自	会社役員	地域の後援者
〃	黒田 聡	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
〃	今野 正隆	社会福祉法人千葉県視覚障害者福祉協会理事	地域の福祉関係者
〃	内藤 寛子	根郷地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
〃	中澤 昌子	元特別支援学校 PTA 会長	地域の福祉関係者
〃	布施 千草	元短期大学学科長	社会福祉事業の学識経験者
〃	星 初枝	薬物乱用防止対策協議会事務局長	地域の福祉関係者
〃	山崎 昭造	木ようの家副理事長	地域の福祉関係者

## (5) 評議員選任・解任委員

任期/2021. 6. 20～2025. 6

職名	氏名	任期	備考
監事	滑川 里美	2021. 6. 20～2025. 6	社会福祉士事務所 所長
監事	井上 郷	2021. 6. 20～2025. 6	税理士事務所 所長
外部委員	稲村 多恵子	2021. 6. 20～2025. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外部委員	小林 眞智子	2021. 6. 20～2025. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事務局	宮本 典昭	2021. 6. 20～2025. 6	愛光職員

#### 4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2021年4月1日～2022年3月31日)

事業所名	2021.4.1 現員数	2021.4.1～2022.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
法人本部	16 (4)	1 (1)	2 (1)	2 (1)		17 (5)
健康管理部 ※7月創設	0	2 (2)	18 (6)		2 (2)	20 (10)
ルミエール	42 (5)	2	1	4		41 (5)
めいわ	42 (4)	2	3	6	3	40 (4)
根郷通所センター	22 (11)		2	4 (1)	1 (1)	20 (10)
リホープ	33 (6)	1	3	4	2	30 (6)
山王の家	4 (4)	2 (2)	1			7 (6)
よもぎの園	13 (7)	1 (1)	3	2		14 (8)
ワークショップかぶらぎ	8 (1)		2 (1)	4 (1)		8 (1)
ジョーの家	2 (2)					2 (2)
福祉相談室 ※7月より本部統合	2 (1)			2 (1)		0
健康管理センター・栄養管理室 ※7月より健康管理部統合	10 (4)			9 (4)	1	0
はちす苑 ※7月より健康管理室は健康管 理部統合	91 (47)	11 (10)	5 (1)	10 (4)	12 (10)	90 (49)
アシスト	5 (1)					5 (1)
佐倉市南部地域包括支援センター	9					9
佐倉市南部児童センター 学童保育所	42 (29)	23 (21)	4 (1)	4 (3)	12 (7)	56 (45)
佐倉市南部地域福祉センター	10 (7)	5 (5)			5 (5)	13 (10)
<b>総 数</b>	<b>351 (133)</b>	<b>50 (42)</b>	<b>44 (10)</b>	<b>51 (15)</b>	<b>38 (25)</b>	<b>372 (162)</b>

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示

## (2) 採用形態別 (2021年4月1日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポ-ト職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	351	117	234	181	90	91	37	8	29	133	19	114
本部	16	8	8	7	5	2	5		5	4	3	1
ルミエール	42	19	23	36	19	17	1		1	5		5
めいわ	42	19	23	35	19	16	3		3	4		4
根郷通所センター	22	9	13	10	7	3	1	1		11	1	10
リホ-プ	33	14	19	25	12	13	2	2		6		6
山王の家	4		4							4		4
よもぎの園	13	4	9	5	3	2	1		1	7	1	6
ワークショップかぶらぎ	8	4	4	6	4	2	1		1	1		1
ジョ-の家	2		2							2		2
福祉相談室	2	1	1	1	1					1		1
健康管理センター・栄養管理室	10		10	6		6				4		4
はちす苑	91	24	67	32	15	17	12	2	10	47	7	40
アシスト	5	2	3	4	2	2				1		1
南部包括支援センター	9	2	7	6	2	4	3		3			
児童センター・学童	42	6	36	6		6	7	3	4	29	3	26
南部地域福祉センター	10	5	5	2	1	1	1		1	7	4	3

★常勤嘱託はサポ-ト職員に含む

## (3) 役割等級別 (2021年4月1日現在)

事業所名	等級 総数	正 職 員					契約職員				パート職員	
		2	3	4	5	6	サポ-ト職	嘱託技能・管理職			1	2
	282	139	31	6	5	0	24			1	70	6
本部	12	2	2	1	2		3				2	
ルミエール	42	32	3		1		1				5	
めいわ	41	30	3	1	1		2				4	
根郷通所センター	18	6	3	1							8	
リホ-プ	32	22	3							1	6	
山王の家	4										4	
よもぎの園	13	3	1	1			1				7	
ワークショップかぶらぎ	8	3	2	1			1				1	
ジョ-の家	2										2	
福祉相談室	2	1									1	
健康管理センター・栄養管理室	10	5	1								2	2
はちす苑	72	23	8	1			9				27	4
アシスト	5	4									1	
南部包括支援センター	8	5	1				2					
児童センター・学童	11	3	3				5					
南部地域福祉センター	2		1		1							

★嘱託サポ-ト、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

## (4) 年齢構成 (2021年4月1日現在)

総数	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
	351	1	62	60	73	75	80
本部	16			2	3	6	5
ルミエール	42		17	10	9	4	2
めいわ	42		14	13	5	9	1
根郷通所センター	22		5	1	4	4	8
リホープ	33		11	8	4	6	4
山王の家	4					1	3
よもぎの園	13			4	5	3	1
ワークショップかぶらぎ	8			2	6		
ジョーの家	2					1	1
福祉相談室	2			2			
健康管理センター・栄養管理室	10			2	5	3	
はちす苑	91		12	11	19	20	29
アシスト	5				3	1	1
南部包括支援センター	9			2	4	2	1
児童センター・学童	42	1	3	3	5	14	16
南部地域福祉センター	10				1	1	8

## (5) 免許・資格 (2021年4月1日現在)

総数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	374	36	15	28	128	112	3	23	14	15
本部	13	1	2	3	7					
ルミエール	60	4	1	2	24	20	7	2		
めいわ	63	6	2	2	25	19	1	5	3	
根郷通所センター	19			7	10		1		1	
リホープ	44	7	4	3	8	20	1	1		
山王の家										
よもぎの園	11	1	1	5	4					
ワークショップかぶらぎ	16	4	1	1	5	5				
ジョーの家	1								1	
福祉相談室	1					1				
健康管理センター・栄養 管理室										
はちす苑	82	4	2	11	47	17			1	
アシスト	10	3	3	2		2				
南部包括支援センター	17	6	2	4	2	1	1	1		
児童センター・学童	34				1	4		8	9	12
南部地域福祉センター	3				1	2				

## 5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規程	区分	整備内容
2021. 6. 5	2021. 7. 1	定款細則・理事等職務権限規程・業務執行理事会運営規定・組織管理規定・給与規程・嘱託職員給与規程・表彰規程・コンプライアンス規程・ハラスメント防止に関する規程・	改正	・業務執行会議・実績会議等名称の変更 ・佐倉圏域事業部・健康管理部設置による組織の変更等
2021. 6. 20	2021. 7. 1	嘱託職員給与規程	改正	・管理職等特別手当てについての文章の変更
2022. 1. 22	2022. 4. 1	就業規則・サポート職員就業規則・給与規程・サポート職員給与規程・パート職員給与規程・嘱託職員給与規程・	改正	・試用期間の変更 ・最低賃金の変更による給与の変更 ・看護師・准看護師資格手当の変更
2022. 3. 19	2022. 3. 19	給与規程・サポート職員給与規程・嘱託職員給与規程・	改正	・処遇改善一時金および諸手当の変更
2022. 3. 19	2022. 3. 19	給与規程・サポート給与規程・嘱託職員給与規程・パート職員給与規程・特別雇用職員給与規程	改正	・「福祉・介護職員処遇改善臨時交付金、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業」を支給するための変更
2022. 3. 19	2022. 4. 1	理事等職務権限規程・資金運用規程・育児・介護休業に関する規程	改正	・職務権限の変更 ・資金運用対象の変更 ・育児・介護休業法改正による変更

## 6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

### （1）事故の状況

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MS かぶらぎ・ジヨー	根郷通所・山王の家	アシスト・包括	児童・学童	地域福祉センター
（総数）	101	3	16	8	5	17	1	3	3	4	41	0
死亡に至った事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折等重症に至った事例	14	0	3	1	1	7	0	1	0	0	1	0
感染症発生事例 （新型コロナ51、他1）	52	3	6	4	1	1	1	1	1	1	33	0
裂傷・打撲等通院治療 事例	18	0	3	2	2	4	0	0	0	0	7	0
無届外出	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
車輛事故（物損）	10	0	0	0	1	4	0	1	1	3	0	0
誤投薬	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0

### （2）苦情

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	かぶらぎ・ジヨー	根郷・山王の家	アシスト・包括	児童・学童	地域福祉センター
（総数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食事等サービス内容に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員の対応、行動に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護、支援方針に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備、職員配置に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の利用者に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### （3）第三者委員の活動状況

施設	担当委員	日付	活動内容
リホープ	四方田委員	2021. 12. 5	利用者と個別面談
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	2022. 2. 5	家族と懇談方式
ジヨーの家	四方田委員	2022. 2. 5	利用者と個別面談
南部地域福祉センター	葛西委員	2022. 2. 19	定期利用団体と懇談方式

7 事業経過 (本部関係/2021.4.1~2022.3.31)

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行理事会	施設長会議	サービス 責任者会議
4月	辞令交付式・新任職員研修・地域食堂ともいき(弁当販売)	14日	14日・21日	14日
5月	管理者評価面接・採用後1年面接・監事監査	14日・21日	19日	12日
6月	理事会・試用期間終了面接・地域食堂ともいき(弁当販売)・評議員会・メンター研修	2日・16日		9日
		業務執行会議	実績会議	
7月	辞令交付式・メンティー交流会	1日	各事業部 月1回	
8月	日本経営会計研修・弁護士研修・メンター面談研修	4日	各事業部 月1回	
9月	理事会・メンター情報交換会	7日	各事業部 月1回	
10月	地域食堂ともいき(弁当販売)・法人権利擁護研修	5日	各事業部 月1回	
11月	管理者面接・地域食堂ともいき(弁当販売)・千葉県指導監査・メンター情報交換会・理事会	5日	各事業部 月1回	
12月	評議員会・地域食堂ともいき(弁当販売)・労務管理者研修・中堅職員研修	7日	各事業部 月1回	
1月	新入職員懇親会・理事会・地域食堂ともいき(弁当販売)メンター交流会・財務研修	4日・13日・ 17日・31日	各事業部 月1回	
2月	内部登用試験・淑徳大学合同説明会・地域食堂ともいき(弁当販売)・	4日・25日	各事業部 月1回	
3月	会計巡回監査・地域食堂ともいき(弁当販売)・理事会・評議員会・	1日・11日・ 18日	各事業部 月1回	

## 8 ボランティアの育成と受け入れ

### 8-1 ボランティア受け入れ状況 (障害支援事業部) (0件/0人)

活動内容	件数	延べ人数	活動内容	件数	延べ人数
理髪	0	0	作業補助	0	0
歩行介助	0	0	行事協力	0	0
外出介助	0	0	ダンス・舞踊	0	0
伴走	0	0	傾聴・朗読等	0	0
清掃	0	0	音楽	0	0
施設・備品整備	0	0	茶道・花道	0	0
裁縫	0	0	公演	0	0
洗濯・たたみ	0	0	手工芸	0	0
生活介助	0	0	その他	0	0

### 8-2 ボランティア登録状況 (障害支援事業部) (0団体 0名・個人0名)

団体名	会員数	所在地域	団体名	会員数	所在地域
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ボランティアの受け入れを中止。そのため新規および継続の登録もなし。					

### 8-3 ボランティア育成事業 (全事業所)

月日	内容
中止	ボランティア交流会 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
中止	地域ボランティア講座 (南部地域福祉センター) ※新型コロナウイルス感染症のため中止
(ボランティア交流会中止に変わる取り組み) ・ボランティアの方々へ感謝のエコバックをプレゼント →新型コロナウイルスの関係で、活動の自粛を続けているボランティアのみなさまに感謝の気持ちを込めて、佐倉市よもぎの園で愛光のロゴマークを刺繍したエコバックを171名にプレゼント送付した。	

## 9 福祉教育

### 9-1 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、小中学校での教育プログラムの変更や感染予防として、外部との接触を少なくする傾向があり、独自で総合学習を進めるとのことで、例年行っていた福祉学習の分野は中止となり、アイマスク体験、点字講座、交流体験も実施にいたらなかった。			

## 10 地域食堂「ともいき」

### 10-1 地域食堂「ともいき」開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域食堂ともいきの開催は中止。それに代わる取り組みとして、外部業者(地域の飲食店)にお弁当作成を依頼。買取したお弁当を100円で販売する。12月より法人職員によるお弁当作成を試み、一部ボランティアの方々にお弁当を詰めてもらう新たな流れを構築。2か月に1回の開催を実施、11月からは毎月1回の開催に移行した。  
 ※1月は感染拡大に伴い、まん延防止等重点措置期間であり中止。

開催日	発注先	地域住民	見学者	ボランティア	延人数	運営スタッフ
4月21日	マハロ(Mahalo)	63	0	4	67	10
6月16日	おふくろ食堂-神門屋-	55	0	4	59	10
10月20日	おふくろ食堂-神門屋-	72	0	4	76	10
11月17日	マハロ(Mahalo)	64	4	4	68	10
12月15日	地域食堂ともいき	69	4	4	73	10
2月16日	地域食堂ともいき	80	3	4	84	9
3月16日	地域食堂ともいき	74	0	5	79	9

○開催場所：山王集会所 ※11月、12月は高齢者ケアセンターはちす苑にて実施

○開催日：第三水曜日 16:30～ ○お弁当代：100円



## II. 健康管理部



## Ⅱ-1 健康管理部

### 概況

当年度の7月より健康管理部が発足した。就業場所ではなく、看護師（医療事務員）、栄養士、マッサージ師という愛光内の健康に関する専門職が集まった部署である。

目的として、今まで以上に法人内に於ける多職種連携を図りご利用者の生活支援や職員のメンタルヘルスに貢献しようというものである。

当年度よりマッサージ師が新たに1名加わった。はちす苑のデイサービス利用者や職員の福利厚生のための施術を行い、ご利用者からは好評を得ている。今後は、愛光健康堂での施術を予定している。

その他、

- ・新型コロナウイルスの地域の感染状況に応じた、法人内の感染対策の推進。  
「新型コロナウイルス情報」や「新型コロナウイルス対応ガイドライン（愛光オリジナル）」を発行。

健康管理部 部長 安部 一義

### 1 健康管理

#### 1. 障害者支援事業部（健康管理センター）

##### 1-1 概況（2021年度）

今年度は予防的観点から施設職員や利用者の健康管理として新型コロナワクチンを積極的に接種するよう家族や施設と連携した。また、制限のある生活面でのメンタルや体調管理で相談等早期対応が出来た。

感染対策も各施設で利用者特性を踏まえてのゾーニングなどの対応により、職員や利用者の新型コロナ感染発生時も単発で終息しクラスターには至らなかった。

高齢化や行動範囲の縮小による機能障害・機能低下による転倒、疾患の個別受診は増加傾向にある。関係医療機関の協力的な受け入れや嚥下機能の低下に対応する支援など、職員の創意工夫により現状維持に務めてきた。

健康管理センター 主任 佐藤綾子

##### 1-2 保健関係行事の実施状況

月	保健関係行事
4月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人新任研修、法人健康診断（職員・利用者）、感染対策会議（ルミエール）
5月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）、栄養改善会議、感染対策会議（ルミエール）、高齢者コロナワクチン接種
6月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、内科健診（利用者）、コロナワクチン接種、感染対策会議（ルミエール）
7月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、内科健診（利用者）、コロナワクチン接種
8月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、コロナワクチン接種
9月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、コロナワクチン接種、健康管理部会議
10月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）、インフルエンザワクチン接種

11月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、インフルエンザワクチン接種、健康管理部会議
12月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、医務内会議
1月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、健康管理部会議、医務内会議
2月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、医務全体会議、医務内会議、内科健診(利用者)、コロナワクチン接種
3月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、医務内会議、健康管理部会議、コロナワクチン接種

### 1-3 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診療日数 97	延人数	1173	413	399	361
【歯科】 診療日数 54	延人数	394	145	119	130
【医務室】 処置日数 365	延人数	7816	3314	365	4137
【精神科】 診療日数 24	延人数	643	351	239	53
【泌尿器科】 診療日数 14	延人数	408	75	239	94
【他科】 診療日数 0	延人数	0	0	0	0

### 1-4 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	141	47	27	67
歯科	延人数	12	8	1	3
眼科	延人数	39	8	21	10
外科	延人数	22	5	0	17
精神科	延人数	225	146	31	48
その他	延人数	280	51	77	152

1-5 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		20	5	2	13
総日数		285	42	12	231
実人数		17	5	2	10
内訳	男	10	4	0	6
	女	7	1	2	4
医療機関別人数 (延人数)	佐倉中央病院	3	1		2
	聖隷佐倉市民病院	2			2
	東邦大学医療c佐倉病院	6	2		4
	成田富里徳洲会病院	3			3
	成田赤十字病院	2	2		
	佐倉整形外科	1		1	
	小林循環器クリニック	1			1
	八千代病院	1			1
	下志津病院	1		1	

1-6 疾患別入院理由

(延人数) 重複発症含む	疾患別入院理由	尿路感染	2	低ナトリウム血症	1
		外傷性脳出血	1	大腸癌に伴う腸炎症疑い	1
		右腕蜂窩織炎	1	不穩による医療保護入院	1
		閉塞性黄疸	1	股関節骨折ボルト固定手術	1
		子宮体癌検査	1	ペースメーカー電池交換手術	1
		子宮癌全摘手術	1	子宮頸がん	1
		てんかん発作	1	肺高血圧症	1
		肝臓腫瘍摘出手術	1	腸捻転	1
		人工肛門閉鎖手術	1	慢性硬膜下血腫	1
		イレウス	1	無気肺	1
		横紋筋融解症	1	胆石	1

1-7 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	10	7	1	2
(内訳)	男:4 女:6	男:5 女:2	男:0 女:1	男:2 女:0

2-1 高齢者福祉事業部（健康管理室）

概況

○戦略目標\*安定した経営基盤の構築～入院数の減少について～

今年度入院件数は、昨年度と比較し減少しているものの、入院先でコロナウイルス感染症のクラスターを受け感染した方や、ご家族が先のない自身の親（利用者）に対し最期に看取りを選択せず、病院で最期を迎える方、療養型に転院される方の迷いがあり、日数としては500日以上となってしまう、目標の480件を上回ってしまった。入院理由として、肺炎・誤嚥性肺炎・脱水・イレウスが主だったものである。便秘で嘔吐し、誤嚥するというケースが増加しており、今後は便秘解消が課題となる。薬に頼るだけでなく、他職種と連携し複合的に考察していきたい。

又、尿路感染症での入院は昨年4件だが、今年度は1件となっている。施設内診療（往診）の件数が増加しており、嘱託医に早目に報告し指示を頂く事により、入院までには至らず回復しているケースが増加していると考えられる。

○戦略目標\*サービスの質の向上～ターミナルケアの実施～

今年度のターミナルケアの件数は、13件（ショートステイ利用者3名含む）であった。状態が落ちている利用者を把握する事で、早目にご家族に連絡し、最期まではちす苑に任せて頂けるのか伺う事で、ターミナルケアへの移行がスムーズになっていると考える。

○戦略目標\*加算取得によるサービスの質の向上～アウトカム評価（栄養・口腔）機能加算取得によるサービスの質向上

昨年度は、歯科往診の件数が月20件前後で推移していたが、今年度は20件後半～30件で推移しており、口腔ケアを受ける利用者が増加した。嚥下機能評価は、コロナ禍の為3件に留まった。

又、機能訓練の評価がデイサービスだけでなく、特養も行う事になった。看護師の評価作業が向上し、スムーズに行える様になった。

（健康管理室 主任 阿部美樹子）

2-2 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定 ｺﾛﾅﾜｸｼﾝ予防接種1回目	ｺﾛﾅﾜｸｼﾝ予防接種1回目	4	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 健康診断・胸部レントゲン・骨密度 ｺﾛﾅﾜｸｼﾝ予防接種2回目	健康診断(胸部レントゲン・血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察)腰椎問診・診察 ｺﾛﾅﾜｸｼﾝ予防接種2回目	4	2	0	0	4
6月	血圧測定・体重測定・内科健診		5	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
8月	血圧測定・体重測定		5	3	0	0	4
9月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 内科健診 ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種	夜勤者健康診断(血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察)腰椎問診・診察 ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種	4	2	0	0	4

11月	血圧測定・体重測定	インフルエンザ 予防接種・	5	2	0	0	4
12月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定 コロナワクチン予防接種3回目	コロナワクチン予防接種3回目	3	2	0	0	3
2月	血圧測定・体重測定		4	1	0	0	4
3月	血圧測定・体重測定		5	2	0	0	4

2-3 施設（内）診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	906	83	68	98	62	78	60	70	97	91	54	62	83
	実人数	475	46	41	45	33	39	32	35	47	39	39	36	43
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	1102	77	80	86	101	96	101	91	97	95	69	111	98
	実人数	363	26	25	30	33	30	31	30	30	32	32	32	32
泌尿器科	延人数	173	11	14	15	16	22	14	16	16	16	14	7	12
	実人数	89	6	7	9	8	8	7	8	8	8	7	7	6

2-4 施設(外) 医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	96	14	13	3	9	6	2	2	6	3	12	11	15
	実人数	79	14	12	3	6	6	2	2	4	3	10	8	9
外科	延人数	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	延人数	13	0	1	0	0	0	1	1	1	2	3	2	2
	実人数	16	0	1	0	0	0	1	1	1	4	4	2	2
泌尿器科	延人数	30	0	1	2	4	0	1	2	0	3	2	13	2
	実人数	23	0	1	2	2	0	1	2	0	3	1	2	9
眼科	延人数	20	0	1	5	1	1	1	3	5	2	0	1	0
	実人数	17	0	1	2	1	1	1	3	5	2	0	1	0
脳外科	延人数	10	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	2	0
	実人数	9	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	2	0
精神科	延人数	13	1	1	1	3	0	1	0	2	0	1	1	2
	実人数	12	1	1	1	2	0	1	0	2	0	1	1	2
循環器科	延人数	6	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0
	実人数	6	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0
菌科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
内分泌科	延人数	31	0	0	4	4	3	3	2	4	1	2	4	4
	実人数	31	0	0	4	4	3	3	2	4	1	2	4	4
乳腺科	延人数	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
救急外来	延人数	17	2	1	0	3	1	0	0	3	1	4	1	1
	実人数	17	2	1	0	3	1	0	0	3	1	4	1	1
ヘルスメーカー	延人数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	実人数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
消化器科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
心臓血管外科	延人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	23	2	4	0	4	0	5	0	3	0	2	1	2
	実人数	23	2	4	0	4	0	5	0	3	0	2	1	2
呼吸器外科	延人数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
皮膚科	延人数	7	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0
	実人数	7	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0
腎臓内科	延人数	9	1	1	1	2	1	1	0	2	0	0	0	0
	実人数	7	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0

2-5 入院の状況（特養在所契約期間中）

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
19	536	28.2	16	6	10	0	5	6	6

2-6 入院理由

肺炎	2	S 状結腸捻転	1
誤嚥性肺炎	5	尿路感染	1
老衰	1	低ナトリウム血症	1
上部消化管出血	1	胆管炎	1
肺癌	1	嚥下検査・内服薬調整目的	1
脱水	3	嘔吐	1
熱発	1	胃腸炎	1
蜂窩織炎	1	右大腿骨頸部骨折	1
慢性心不全憎悪	1	イレウス	2

2-7 機能回復訓練（指圧）の実施状況

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 3. 障害者支援事業部 (栄養管理室)

#### 3-1 概況

- 利用者の高齢化が進むにつれて嚥下状態や、咀嚼の問題が生じている。高輪会の言語聴覚士にご指導をいただきながら、施設職員と食事形態や食事時の姿勢などの見直しを図り、利用者の食事支援の向上につなげた。
- 栄養ケアマネジメント会議を各施設年2回(計6回)開催した。利用者の採血結果を基に日頃の食事摂取量、間食内容および頻度、運動量など細かい情報を集めながら、支援内容を施設職員と話し合いを行った。
- 栄養改善委員会(隔月実施)を行い、施設、給食委託業者を交えながら、よりよい給食提供に向けて話し合いを行った。
- 大規模災害に備え、非常食のストックをこれまでの3日分から1週間分に増やした。また、厨房の機能不全にも対応できるよう備蓄場所を施設にも分散し、素早く対応できるようにした。
- 旬の食材を使い利用者からのリクエストにも応えつつ、体に負担のかからない献立作成に努めた。

管理栄養士 兼平真佐子、武石美紀

#### 3-2 標準献立

	朝食 8:00~	昼食 12:00~	夕食 18:00~
献立名	ごはん 冬瓜とえびの煮物 ほうれん草のピリッと和え のり佃煮 みそ汁(麩、えのき)	ごはん 肉豆腐 キャベツのおかか和え きんぴらごぼう みそ汁(里芋、玉ねぎ)	ごはん さばのみそ煮 友禅和え 塩もみ野菜 かきたま汁

### 3-3 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総数	148	38	2	4
ルミエール	40	15	2	1
めいわ	40	13	0	3
通所	32	2	0	0
リホープ	36	7	6	0
	療養食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総数	0	17	12	0
ルミエール	0	6	2	0
めいわ	0	7	4	0
通所	0	0	0	0
リホープ	0	4	6	0

### 3-4 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74g	脂質	50g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	770 $\mu$ g	ビタミンB1	1.15mg	ビタミンB2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

### 3-5 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・・・施設職員3名、利用者代表1名、施設栄養士3名、  
委託給食会社社員1名、委託給食会社（責任者）1名

月 日	内 容（例）
2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士から連絡（非常時における防災食の使用、嗜好調査、下膳時の食札の返却方法について）</li> <li>・給食委託業者より</li> <li>・検食簿からの意見</li> <li>・施設からの意見</li> </ul>

3-6 行事食献立

月・日	区分	行事名	献立
4月1日	昼	春の献立	たけのごはん、赤魚の粕漬焼き、里芋田楽、すまし汁（わかめ、エリンギ）、ほうじ茶プリン
4月8日	昼	花まつり	桜ちらし寿司、ふきの信田煮、すまし汁（うど、麩）、桜もち風和菓子
4月29日	昼	昭和の日	グリーンピースごはん、手作りさつま揚げ、里芋のそぼろあんかけ、すまし汁（花麩、わかめ）、練乳あずきプリン
5月5日	昼	端午の節句	五目ちらし、ごぼうと牛肉の炒め煮、すまし汁（はんぺん）、柏もち
6月5日	昼	芒種	わかめごはん、すずきの西京焼き、蒸し茄子のポン酢しょうゆ和え、すまし汁（あさり）、フルーツ（夏みかん）
6月11日	昼	入梅	まぜごはん、豚肉と茄子のおかか炒め、トマト奴のねぎだれ、みそ汁（もやし、麩）、梅ゼリー
6月16日	昼	麦とろの日	麦ごはん、鶏肉の照り焼き、とろろ芋、けんちん汁、季節の和菓子
6月21日	昼	夏至	山菜とろろそば、いなり寿司、鶏肉と野菜の煮物、ラムネゼリー
7月7日	昼	七夕	枝豆ごはん、鱈の塩こうじ焼き、里芋のそぼろ煮、おくらのすまし汁、梅ゼリー
7月28日	昼	土用丑の日	穴子ちらし寿司、切り干し大根のオイスターソース炒め、バンサンスー、おくらのすまし汁
8月7日	昼	立秋	ごはん、ふくさ卵、チンゲン菜と桜えびのお浸し、冬瓜のそぼろ煮、みそ汁（里芋、油揚げ）
8月8日	昼	山の日	オムライス、海藻サラダ、ワンタンスープ、フルーツ（キウイ）
8月23日	昼	処暑	ごはん、ぶりのカレー風味焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、キャベツと印元の生姜和え、みそ汁（南瓜、玉ねぎ）
9月9日	昼	秋の献立	栗ごはん、家常豆腐、ほうれん草のわさび和え、おくらのすまし汁、みたらし団子
9月20日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、すまし汁（大根、小松菜）、プルーンの甘煮

9月23日	昼	秋分の日	ごはん、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、おはぎ
10月18日	昼	十三夜	栗ごはん、あじの粕漬焼き、切り干し大根のサラダ、けんちん汁、みたらし団子
10月23日	昼	秋の土用	さつま芋ごはん、さんまの塩焼き、キャベツと竹輪の辛子和え、すまし汁（豆腐、菜の花）、水ようかん
10月31日	昼	ハロウィン	ごはん、さばの照り焼き、チーズ入り南瓜サラダ、すまし汁（たけのこ、わかめ）、フルーツ（キウイ）
12月7日	昼	冬の献立	ごはん、鮭の香味焼き、きんぴらポテト、生姜味のコンソメスープ、フルーツ（みかん）
12月22日	昼	冬至	ちらし寿司、切り干し大根のゆず和え、すまし汁（はんぺん、みつば）、南瓜ババロア
12月24日	昼	クリスマス	ごはん、ミートローフ、えびとブロッコリーとゆで卵のサラダ、ミネストローネ、チョコレートケーキ
12月31日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかき揚げ、いなり寿司、ほうれん草と油揚げの和え物、水ようかん
1月1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮、紅白なます、紅白かまぼこ、ローストビーフ、黒豆、数の子、ゆずゼリー
1月7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、のっぺい汁、抹茶ようかん
1月11日	昼	鏡開き	ごはん、太刀魚の塩焼き、玉ねぎのドレッシング和え、雷汁、おしるこ
2月3日	昼	節分	ちらし寿司、切り干し大根の煮物、ささみと胡瓜のごま和え、すまし汁（はんぺん、みつば）、水ようかん
2月14日	昼	バレンタイン	ごはん、鶏肉のクリーム煮、さつま芋サラダ、ベーコンとエリンギのスープ、チョコレートプリン
3月3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、松風焼き、ねぎとろ、六角里芋と木の葉南瓜の煮物、すまし汁（菜の花）
3月21日	昼	春分の日	ごはん、ローストポーク、えびと玉ねぎの酢の物、沢煮椀、ぼたもち

#### 4. 高齢者福祉事業部（栄養管理室）

##### 4-1 概況

- はちす苑の基準とする栄養所要量は個人差が大きく、身体活動レベルも全介助から歩行できる方まで幅が広い。  
年齢、性別、身長、体重から基礎代謝量を計算し、体重の推移を確認しながら提供した。  
入居者の食生活が豊かになり季節感を感じられるように心を込めて料理を作る様に努めた。
- コロナ感染症対策のため家族をお招きしてのイベントなどは出来なくなったが、寿司や季節の果物を皆さんで味わった。
- 栄養改善委員会（隔月実施）を行い、施設課長、看護師、介護主任、委託給食会社と安全で安心できる食事提供について話し合いを行った。  
栄養ケア・マネジメントとして利用者の栄養状態について情報を共有した。

（高齢者福祉事業部 管理栄養士 江口貴子）

##### 4-2 標準献立（平均所要量エネルギー1492kcal//蛋白 65.0g//脂質 37.4g//糖質 216.7g）

	朝食（8:00～）	昼食（12:00～）	夕食（18:00～）
献立名	ごはん 海老と大根の煮物 小松菜のおかか煮 もやしのおひたし キャベツとささげのみそ汁 牛乳	菜の花のちらし寿司 肉詰めいなりの煮物 のっぺい汁 ねりきり和菓子	ごはん さばのみそ煮 アスパラ添え ひじきのさっぱり和え お漬物 小松菜とえのきのすまし汁

##### 4-3 食種構成表

総数	主食				副食				胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	ソフト	
54 (入院2)	16	12	18	6	12	16	17	7	0

##### 4-4 行事食献立

月	行事名	献立名
4月	昭和の日	グリーンピースごはん、
5月	八十八夜 端午の節句 お楽しみ	デザートにお茶まんじゅうを提供 あなごのちらし寿司、おでん（大根、はんぺん、卵）、沢煮椀、季節の和菓子 やわらか牛丼、五目金平、きゅうり塩もみ、なめこのみそ汁、トマトゼリー
6月	入梅 千葉県民の日 芒種 和菓子の日 夏至	まぜご飯、豚肉と豆腐の炒め、ふきの煮物、ぬか漬け、みそ汁、梅ゼリー 焼きそば、バンバンジーピーナツだれ、ニラ卵スープ、杏仁豆腐 雑穀ごはん、さばの竜田揚げ、焼きナス、しその実漬け、南瓜のみそ汁、オレンジ 麦ごはん、さばの照り焼き、とろろ芋、ふきの葉の佃煮、けんちん汁、和菓子 ごはん、豚の生姜焼き、冬瓜煮、ぬか漬け、さつま芋のみそ汁、うめゼリー
7月	七夕  土用うしの日 はちすフェスティバル	五目そうめん、えびと野菜の天ぷら、セロリのれもん風味、抹茶水ようかん  やわらかうな丼、肉詰めいなりのの炊き合わせ、奈良漬け、小松菜すまし汁、小豆 ミルクゼリー にぎり寿司（まぐろ、サーモン、ねぎとろ、納豆、ほたて貝柱等） 茶碗蒸し、マンゴー、けんちん汁

8月	山の日 お盆	オムライス、ゴーヤの炒め、かにかまのみつばのすまし汁、フルーツ（すいか） いなり寿司、はんぺんタラコ焼き、甘酢生姜、けんちん汁、マンゴー
9月	重陽の節句 敬老会 敬老の日 秋分の日 十五夜	栗ごはん、白身魚の山芋焼き、ほうれん草の菊花和え、浅漬け、えびしんじょのすまし汁、フルーツ（梨） 花形赤飯、ぬか漬け、マグロとサーモン盛合わせ、この葉南瓜の炊き合わせ、茶わん蒸し、三つ葉のすまし汁、フルーツ（梨、巨峰）→松花堂弁当での提供 ごはん、天ぷら盛り合わせ（えび、ピーマン、さつま芋）、モロヘイヤお浸し、たいみそ、鯛のうしお汁、もも缶 ちらし寿司、肉詰めいなりの煮物、甘酢生姜、しめじのすまし汁、白桃缶 ごはん、豚肉と大根の煮しめ、薬味豆腐、きゅうり漬物、しじみ汁、季節のねりきり
10月	はちす苑開設記念日 十三夜 ハロウィン	赤飯、白身魚の山芋焼き、小松菜と蒸し鶏の辛子和え、ぬか漬け、ふのりのすまし汁、お汁粉 栗ごはん、白身魚の粕漬け焼き、ほうれん草サラダ、漬物、キヌサヤスープ、みたらしおもちムース クリームチーズ入り南瓜サラダを提供。
11月	寿司パーティー 勤労感謝の日	寿司職人が来苑し、マグロ、サーモン、ほたて等握りたてを味わった。 雑穀ごはん、かれいのから揚げ、かぶのかにかまあんかけ、漬物、しじみのみそ汁 さつま芋プリン
12月	大雪 忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	ごはん、さばのみりん漬けやき、わかめの煮びたし、ぬか漬け、具だくさん汁、みかん にぎり寿司とおでんを味わった。 ごはん、すり身と豆腐のかば焼き、青菜ゆず和え、ぬか漬け、卵豆腐の汁、南瓜プリン ごはん、ミートローフ、ツナサラダ、蓮根すりおろし汁、季節のねりきり 年越しそば、海老と茄子のてんぷら、いなり寿司、甘酒
1月	お正月 七草 鏡開き	元旦の昼：うしお汁のお雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、六角里芋炊き合わせ、かまぼこ、にしんの昆布巻き、栗きんとん、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、豆腐のそばろ包み焼き、マロンババロア 七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、大根の浅漬け、えのきだけすまし汁、栗水ようかん ごはん、鮭の照り焼き、五目豆、漬物、豆腐のスープ、おしるこ
2月	節分 バレンタインデー お楽しみ	卵の太巻きすしといなりすし、豆腐ステーキ、すまし汁、プルーン紅茶煮 ごはん、鶏肉のクリーム煮、白菜サラダ、ぬか漬け、コンのスープ、チョコの和菓子 ミートソースドリア、キャベツのサラダ、にら卵スープ、いちご
3月	ひなまつり ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日	菜の花のちらし寿司、肉詰めいなりの煮物、のっぺい汁、和菓子 チョコのババロア 赤飯、マグロの山かけ、炊き合わせ、かきたま汁、ココナッツミルクゼリー ごはん、えびと野菜の天ぷら、小松菜の白和え、おしんこ、すまし汁、おしるこ ごはん、天ぷら（えび、南瓜、かき揚げ）、白和え、浅漬け、はんぺんすまし汁、マンゴー

5 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

5-1 概況

○数値目標・サービス目標

目 標	実 績
収入 月平均 23 万円 (食数換算 233 食)	収入 月平均 22 万円 (食数換算 229 食)

4 月から江原台、角来地区も飛び地ながらもはちす苑の配達地域になった。西御門から江原台まで一日の総走行距離は 50 ㌔近くになった。

強風でも、大雨でも一人暮らしの方に夕食のお弁当を届ける実績を重ね、夏から新規の依頼件数が増えた。

それでも施設入所や入院などがあり、増減を繰り返しながら確実に増えてきている。

地域の方が住み慣れた家で暮らすために温かいお弁当を届ける使命を果たしたいと願う。

(高齢者福祉事業部 管理栄養士 江口貴子)

5-2 実績

月	食数	実利用者数	新規	終了
4 月	198	14	3	2
5 月	202	15	1	2
6 月	207	14	1	2
7 月	227	17	3	2
8 月	251	19	2	1
9 月	253	20	1	1
10 月	243	23	5	3
11 月	259	23	1	3
12 月	242	18	0	3
1 月	211	18	1	1
2 月	220	16	1	2
3 月	241	15	0	0

6. 愛光健康堂 実施状況 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

対象者	総数	月											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総 数	28	3	1	2	3	2	2	1	1	8	4	1	0
一般	9									7	2		
利用者	19	3	1	2	3	2	2	1	1	1	2	1	
職員	0												

※新型コロナウイルス感染拡大による一般と職員の受け入れ休止あり

7. 新型コロナウイルス感染症

7-1 新型コロナウイルス感染状況 (2021年4月1日~2022年3月31日)

事業所名		月												
		総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総数		51	0	1	0	3	0	0	0	0	0	5	34	8
本部		3											2	1
アシスト 地域包括支援センター		1										1		
南部地域福祉センター 児童センター・学童	児	29		1		1						1	21	5
	職	4											4	
ルミエール	利	1										1		
	職	5										1	4	
めいわ	利	1				1								
	職	3				1							1	1
根郷通所センター 山王の家	利	0												
	職	1												1
リホープ	利	0												
	職	0												
よもぎの園	利	1											1	
	職	0												
WCかぶらぎ ジョーの家	利	1											1	
	職	0												
高齢者福祉事業部	利	0												
	職	1										1		



## Ⅲ. 障害者支援事業部



## 概況

「ともに支えあう 笑顔で、やさしく、ていねいな支援の実践」をスローガンとし、特にチームワークについて力を入れた。当期も新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営することとなった。特に新型コロナウイルス陽性者発生の対応には事前にシミュレートしていたこともありスムーズに対処し感染拡大を防ぐことができた。

## ○数値目標（稼働率）

施設入所：98% ⇒ 98.6% 生活介護：97% ⇒ 96.8% 短期入所：68% ⇒ 52.6%

※入退所状況；退所2名、入所2名により現員59名

短期入所利用状況；感染防止対応として他事業所併用者の利用を制限等もあり稼働率が低下、後半制限解除後もルミエール内に陽性者が出たこともあり立て直しに時間を要している状況

## ○入退所調整制度の確立

9月21日にルミエール・めいわ・リホープ合同の会議を実施し、12月1日までに他施設へ移動可能な利用者をリストアップすることとなり、12月1日にルミエール・めいわ・リホープの2回目の合同会議を実施し、各施設で作成したリストの確認を行った。

2月8日の3回目の会議で、今後も経営企画室相談員を窓口とし、入所希望の多い「めいわ」を入口として、ルミエール・リホープに振分け待ちの無いスムーズな入所に繋げていく。

## ○新規利用者の確保及び収入の確保

コロナ感染防止対策により新規利用者受け入れを積極的に進める事が難しかった。

10月にショートステイ受け入れを緩和し予約段階では以前利用していたリピーターも戻りつつあったが1月に新型コロナウイルス陽性者が出てしまった事によりキャンセルが続き実績を伸ばすことができなかった。

## ○質の高いサービスの提供

## ・年齢層に対応する日中活動体制の構築

今年度より日中活動コーディネーターを毎日付ける事により日中活動の稼働率が上がった。

## ・高齢化・重度化および重度障害に対応する知識・技術の習得

オンライン研修を積極的に取り入れ、短時間でも受講できるようになっている

## ・医療的ケア・ニーズへの対応

個々のケースへ対応している。肺高血圧症の利用者対応に酸素療法を検討し退院後、CPAP（持続陽圧呼吸療法）で対応している。

## ・虐待防止の徹底

身体拘束モニタリング2回実施（9月・1月）虐待防止会議3回実施（8月・12月・3月）

## ○生命・身体機能につながる重大な事故の防止

生命、身体機能に重大な影響の出る大きな事故はないが、転倒や接触等による怪我は多数ある。特に原因不明な手指骨折事故が2件あった。

## ○人材確保

今年度はコロナ禍の影響で減少した実習の受け入れを積極的に行ったが、1月にコロナ陽性者が出たことにより後半の受け入れ実績が伸びなかった。

## ○災害時の事業継続

新規の事業継続計画書が2月に出来上がり、2月～3月にかけて各施設で事業継続計画書作成のための委託業者から内容の説明と訓練が実施される。また、緊急時における災害用伝言ダイヤルの活用について職員への周知を実施すると共に、ご家族・後見人へ案内を郵送する。

## ○ICT導入による業務の効率化

業者によるソフトのデモや施設内係で検討は続けている。

## 【その他】

## ○第三者委員による懇談会 コロナ禍により未実施

（施設長 大里英巳）

1 施設利用状況 (2021.4.1~2022.3.31)

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	21900	21628	21595	59.16	98.60	305	272	33	0	2	1

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			1	1			
退所者数と退所事由	2						2	

1-3 短期入所 (ショートステイ) 利用状況 【定員 3 名】

	利用者			
	延定員数	延総数	1日平均	稼働率
年間	1095	577	1.58	52.69%

1-4 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 利用状況

	利用者	
	総数	1日平均
年間	1	0.002

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	2	中央区	0	2	足立区	1	0
船橋市	2	0	美浜区	1	0	板橋区	3	0
印西市	1	0	若葉区	0	1	江戸川区	3	1
大網白里市	0	1	稲毛区	1	0	大田区	2	0
君津市	3	0	花見川区	0	1	葛飾区	2	0
松戸市	1	2	計	2	4	港区	1	0
習志野市	1	0	合計	6		江東区	2	0
成田市	0	3	【埼玉県】			渋谷区	0	1
館山市	1	0	春日部市	0	1	品川区	1	0
市川市	1	0	草加市	2	0	世田谷区	2	0
八千代市	0	1	計	2	1	千代田区	1	0
銚子市	1	0	合計	3		練馬区	1	0
南房総市	1	0	【神奈川県】			目黒区	1	0
九十九里町	1	0	横浜市	0	1	昭島市	1	0
鎌ヶ谷市	1	1	相模原市	1	0	町田市	1	0
計	15	10	計	2	1	計	22	2
合計	25		藤沢市	1	0	合計	24	
			計	2	1			
			合計	3				

※佐倉市住所所持者 34 名

## 2 利用者の状況（2021年度中在所した全利用者）

### 2-1 年齢構成（年齢は2021.4.1現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	61	0	12	4	22	16	7	46.3	92	20
%		0%	19.6	6.6	36.1	26.2	11.5			
男	43	0	8	2	19	8	6	46.0	70	20
女	18	0	4	1	6	5	2	47.6	92	24

### 2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	61	0	0	0	0	3	58	8
%	100	0	0	0	0	5.0	95.0	13.1
男	43	0	0	0	0	0	43	6
女	18	0	0	0	0	3	15	2

### 2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	61	49	2	0	0	1	0	8
%	100	80.3	3.3	0	0	1.6	0	14.8
男	43	37	1	0	0	1	0	4
女	18	12	1	0	0	0	0	5

### 2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	61	24	23	0	0	14
%	100	39.3	37.7	0	0	23.0
男	43	13	22	0	0	8
女	18	11	1	0	0	6

## 3 利用者の障害の状況

### 3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	61	49	4	53	7
%	100	80.3	6.6	86.9	13.1
男	43	37	3	40	3
女	18	12	1	13	5

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	61	43	17	0	0	60	1
%	100	70.5	27.9	0	0	98.4	1.6
男	43	31	12	0	0	43	0
女	18	12	5	0	0	17	1

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	61	53	23	4	39	1	60	1	45
%	100	86.9	37.7	6.6	63.9	1.6	98.4	1.6	72.1
男	43	40	17	2	28	1	43	0	33
女	18	14	6	2	11	0	17	1	11

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	23	14	34	19	60	31	61
%	37.7	23.0	55.7	31.1	98.4	50.8	100
常時多面で介助	18	23	23	20	0	9	0
%	29.5	37.7	37.7	32.8		14.8	0
時々部分的に介助	19	14	4	15	0	13	0
%	31.2	23.0	6.6	24.6	0	21.3	0
点検・配慮程度	1	10	0	7	1	3	0
%	1.6	16.3	0	1.6	1.6	4.9	0
自立	0	0	0	0	0	5	0
%	0	0	0	0	0	8.2	0

### 3-5 コミュニケーションの状況

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字
不可	38	6	60	61
%	62.3	9.8	98.4	100
一部で可能	20	50	1	0
%	32.8	82.0	1.6	0
だいたい可能	3	5	0	0
%	4.9	8.2	0	0
支障なし	0	0	0	0
%	0	0	0	0

#### 4 援助サービス

##### 4-1 援助サービスの実施状況

項目	援助サービスの実施状況
【住居】	<p>援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。</p> <p>居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。</p> <p>当年度はコロナ禍にあり、特に感染症対策として衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として多目的除菌洗剤、電解次亜水（100ppm）を使用し居室や食堂、トイレのほか、手すりやドアノブ等手に触れる場所の除菌・消毒を1日2回以上行っている。また年間を通し手指のアルコール消毒および換気による空気の入替えを実施するなど感染症対策を徹底した。</p> <p>環境整備として、経年劣化による浴室給湯配管改修工事と並行し現状に即したシャワー設備への改修と、不具合のあった各所照明設備更新工事を実施した。当年度実施予定だった共用部の床改修については緊急事態宣言等の関係で次年度に実施方向となった。</p> <p>不定期であるが環境美化デイ、営繕活動デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等を行い、環境美化向上に努めた。</p>
【食事】	<p>ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。</p> <p>また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。本年度も全利用者に対し栄養ケア計画を実施し定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施した。</p>
【排泄】	<p>全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。健康管理面で、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名については、身体状況に変化がないか計量を行い内服等もすすめている。</p>
【入浴】	<p>サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供した。</p>
【ホーム活動】	<p>ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。</p> <p>全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。</p> <p>各ホーム活動においては、誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等行った。</p> <p>《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。また、当番職員とご利用者により、誕生会や献立、一日の流れ等、毎日放送を行った。</p> <p>《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。</p> <p>《造形》 季節の行事で掲示・使用する作品等を中心に、活動した。書初め等季節にそった工夫も見られた。</p> <p>《食事会》 デリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。季節感や流行も取り入れ、食を楽しむ機会を提供した。当年度はコロナの影響にてテイクアウトの選択肢が増え、バラエティに富んだメニューからの選択、地域の店舗とのささやかな交流の機会が増えた。</p>

【余暇活動】	<p>《クラブ活動／行事》 例年はなのはな広場に集まりにぎやかに開催してきたが、当年度は感染症対策に留意し実施。「タイムラグをとりながら数名ずつ広場に集まり各々食事のテイクアウトやゲームへの参加」、という会もあれば、「ホーム毎に会場設定し放送機器を使いながら何とか一体感を保ち進行」という会もあり、各担当職員による創意工夫が感じられた1年だった。殊にクラブ活動については、夏季には暑中見舞いを作成し離れて暮らすご家族等への送付、秋にはルミエール秋まつりと称してケータリング風の食事や数種のレクリエーション企画を用意するなど、趣向を凝らした内容で大いに楽しんでいただく機会の提供が行われた。</p> <p>《歩行・散歩》歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえませんが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。</p> <p>《外出》グループ外出、ニーズ別旅行は中止。緊急事態宣言下ではもとより、コロナ禍でマスク着用が一般的な約束事になり、なかなか着用の難しい方々については外出の機会は激減した。法人警戒レベルに応じ外出可能な時期についても、数名でのドライブを行うにとどまった。天候の良い日には近隣の公園で、地域の方との距離をはかりつつ散策やお花見を楽しんだ。</p>
【とつぜん音楽会】	<p>任意の参加…という形で開催。流れる音楽から季節や年代を感じ、アクティブに、かつ心穏やかになるよう活動を提供した。</p> <p>◎ ボランティア交流は当年度中止。ニーズ別旅行についても、集団でのバス移動にともなう感染リスクの観点から中止。</p>

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

	2021.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	42 (5)	5(2)	4	2 (1)	4 (3)	41(6)
施設長	1		1	1		1
支援課長	1					1
主任	3					3
生活支援員	36(4)	2		3		35(4)
クリーンスタッフ	1(1)					1(1)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/1~4/5	新任職員研修	2	4/25	新任職員研修(リスク 入浴)	2
4/30	リスクマネジメント研修 (WEB)	10	5/7	新任職員研修(防災 排泄)	2
5/25	コンプライアンス研修 (WEB)	7	6/4	感染症研修	1
7/4	個別支援計画作成研修 (WEB)	4	7/14	介護マイスター研修	2
8/4	実績記録研修	2	8/9	てんかん基礎講座 (WEB)	2
8/23	意思決定支援研修	1	8/27	メンター面談研修	2
9/9	感染症研修 (WEB)	1	9/13	DWAT 研修 (WEB)	1
10/14	ハラスメント研修 (WEB)	1	10/28	コンプライアンス研修	3
12/3	リフレッシュ研修	4	1/19	虐待防止研修 (WEB)	1
2/9	虐待防止研修 (WEB)	1	2/22	虐待防止マネジャー研修 (WEB)	1
2/25	サービス管理責任者更新研修	2	2/28	サービス管理責任者更新研修	1
3/2	サービス管理責任者更新研修	1			
施設外					
12/1	防災研修	1			
複数研修					
研修内容		月 日		参加人数	
TEACCH 研修		7/24 9/16 12/13		2	
強度行動障害実践研修		10/25 10/26		1	
介護福祉士実習指導者研修		11/21 11/28 12/5		1	
社会福祉士実習指導者研修		11/20 11/21		1	
自閉症講座		12/3 12/10 12/17		1	
強度行動障害基礎研修		12/3 12/8		1	

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/26~7/2	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	3
8/2~8/28	淑徳大学	社会福祉士	1
8/30~9/18	淑徳大学	社会福祉士	2
9/6~9/27	大原医療保育福祉専門学校	介護福祉士	1
9/27~10/15	千葉敬愛短期大学	保育士	1
10/11~10/29	千葉敬愛短期大学	保育士	1
10/11~10/30	淑徳大学	社会福祉士	1
11/8~12/8	大原医療保育福祉専門学校	介護福祉士	2

6 行事实施状況

月	行事内容
4月	歓迎会(27)
5月	とつぜん音楽会(18)
7月	クラブ活動;夏野菜収穫カレーパーティ(21)
8月	とつぜん音楽会(8)
10月	ルミエール秋祭り(22)
11月	運動会(29) とつぜん音楽会(28)
12月	クリスマス会(24)
1月	新年会(18)
2月	クラブ活動;バレンタイン(15)
3月	送別会(18)とつぜん音楽会(27)

## 概況

「地域とともに歩む利用者サービスを！」をスローガンとし、新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営。地域行事やボランティア受入等中止のなか、活動（ユニバーサル農業、地域新聞配達、受注作業等）を通して地域との関わりを継続できているのは大変貴重なことである。

新型コロナウイルス感染症対策については、職員・利用者各1名の感染が確認され、保健所の指導のもと7/6～11、7/20～8/10の期間、行動自粛を実施した。幸い感染拡大も、罹患した方の重症化もなく終息したが、自粛期間中のストレスや後遺症等しばらく経過を追った（現在は回復）。対応した職員については、感染に対する不安と猛暑における防護服着用の支援はかなり負担も高かったが、終息後の振り返りにて、自然と生まれた相互協力と協働体制、「ONE TEAM」を実感したとの声が多く聞かれた。年間を通し外出や帰省・面会等制約を多くせざる得ない分、施設内の生活を楽しんでいただけるよう感染対策に配慮しつつ食事会や行事、年末年始イベント等を企画した。

○本年度数値目標（稼働率目標⇒実績）

- ・施設入所；97% ⇒99.3%   ・生活介護；110% ⇒108.2%   ・短期入所；80% ⇒79.1%
- ・入所定員56名 ⇒現員55名（入所1名、退所1名）

○入退所調整制度の確立

- ・利用者のニーズ・状況に応じた法人内部での移動を含めた入退所調整制度について、障害3施設にて協議・検討。各施設の主対象の棲み分けと候補者の選考を行い、窓口を経営企画室相談員とした。今後各施設における入退所事案に伴い実施していく方向となったが、移動先でのサービスの展開等ご利用者とご家族への丁寧な説明と同意が求められることとなる。慎重に取り組んでいきたい。

○自ら考え、行動できる職員の育成

- ・歩行訓練士を講師とし視覚障害者支援技術・理解に関する研修を実施。また、WEB研修への参加、フロアリーダー会議の開催、個別支援計画作成と遂行、各係や行事担当等通し各々の役割に対する自覚・意識の向上につなげるようアプローチしている。法人内施設での実習については総合相談センターで1名実施。

○利用者の生活上の不満をなくす

- ・WEB面談の手法は概ね確立し特定のご家族については定期的実施。再度案内も行ったが要望は増えず、ブログの更新、行事報告等文書の送付により施設からの情報発信を行った。
- ・月毎の食事会については年間通し利用者の希望を伺い食事を提供した。総じて好評だった。
- ・利用者理解を深めよりよいサービスにつなげるために、職員会議でケース紹介を実施。支援方法や、利用者の思いを共有した。また、利用者にとって楽しみの一つである自販機や移動販売車の利用について不明瞭な点があり、支援会議で個別の状況踏まえ約束事の可視化を実施。これにより、職員・利用者双方に混乱がなくなり安定したサービスの提供につながった。

○災害時の事業継続

- ・コンサルタントより感染症対策を盛り込んだ新事業継続計画書について管理者向けに主旨説明が行われた（3月）。次年度以降本格的に活用していく。当年度は、施設において防災訓練3回および災害伝言ダイヤル訓練を実施。後者については家族・後見人へも案内を送付。

○ICT導入による業務の効率化

- ・プロジェクト中心に検討。記録ソフトの更新は問題なく8月に実施。実用には至らなかったがインカムのデモ機等の試用、勤務管理ソフトについても検討した。次年度に向けては、記録ソフトの有効活用について検討。

【その他】

○第三者委員による懇談会                      コロナ禍により未実施（延期）                      （施設長 片野 明美）

## 2021（令和3）年度 事業報告書

### 根郷通所センター

#### 概況

昨年度に引き続き新型コロナウイルスに振り回される1年であった。特にオミクロン株の猛威は大変なもので“職員、利用者ともに濃厚接触者となることや法人内にある入所施設のショートステイを利用した先でコロナが発生”するなど、事業所内でいつクラスターが発生してもおかしくない状態であった。

サービスの提供内容としては、ボランティアの受入れや余暇活動を大幅に縮小しての活動であったが、根郷通所センターは作業を中心にいつも通り笑顔と活気が溢れていた。

#### ○本年度数値目標

- ・生活介護:目標 124% ⇒ 実績 123%

#### ○満足度調査の検討チームによる内容の検討および作成

- ・利用者が求めるサービスを把握するための満足度調査を実施すべく検討チームを発足させた。職員の意識改革も視野に入れ全員参加による十分な作成期間を設けることとした結果、早い段階で意識の統一（満足度調査の必要性和意味）が成されたため調査の実施にまで至ることができた。
- ・調査内容としては、“職員の対応について”“個別支援計画について”“通所中の様子について”“充実度について”“環境面について”を掲げ、配布数:42 に対して回収数:33 未回収:9 であった。調査結果としては“通所中の様子を知りたい”“顔写真入りの職員照会ボードの設置”の二点が挙げられた。その他、コロナ禍の影響により活動内容が制限されていることや個人的な要望や感想が挙げられた。この要望を受け、顔写真入りの職員照会ボードの作成に取り掛かることを決めた。通所中の様子については普及率の高い無料通話アプリLINEを活用しての情報発信を行うことで対応することとなった。これにより煩雑であった連絡帳でのやり取りも無くなり業務の効率化に繋げることも可能となる。

#### ○個別性の高い活動の提供(タブレット端末の活用)

- ・視覚障害者用のアプリや自閉症支援アプリをインストールすることで利用者ニーズに即した支援を試みた。特に余暇時間を持て余していた利用者にとっては力強い味方となり動画や音楽鑑賞で楽しい時間を過ごすことができるようになった。タブレットの貸し出しは人気があり、共有で使用できる端末を4台導入。頻繁に使う方は、個人で購入していただき Free Wi-Fiを提供させていただいている。

#### ○個別面談の実施による支援計画の作成

- ・コロナ禍の事情を踏まえ面談を希望するご家族のみオンラインで要望を伺うこととした。その他の人に関しては、個別支援計画書を配布し直接要望等を記入して頂く形に対応した。最新のアセスメントの情報を得られていない方も多いため引き続き個別面談の実施を積極的に促すこととする。

#### ○相談支援事業所とのケースの共有

- ・利用者の個別的な外出等(市役所での諸手続きや通院)の根郷通所では補えないサービスについて、他サービスの利用の調整をお願いするなど連携を図ってきた。現状として“些細な事でも親兄弟に対応をお願いする流れ”になっているが、いつまでキーパーソンとしての役割を果たさなければならぬかと疑問に思うことがある。親亡き後も見据えつつ安心して根郷通所センターに任せてもらえるような事業所づくりに努めていきたい。

#### ○災害時の事業継続

- ・新規の事業継続計画書が提示され委託業者から内容の説明と訓練が実施された。合わせて、年三回の非常訓練と緊急時における災害用伝言ダイヤルの活用について訓練を実施している。

#### ○ICT 導入による業務の効率化

- ・予定の通り記録ソフトの更新を実施、不都合や問題等は発生していない。次年度に向け、記録ソフトの有効活用について検討を行う。

#### 【その他】

#### ○第三者委員による懇談会 コロナ禍により未実施

(所長:菊地 暁生)

1 施設利用状況 (2021.4.1~2022.3.31)

1-1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20384	20282	20242	55.6	99.3	142	120	9	0	1	1

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6144	10688	7565	29.6	123.1	1	9

1-2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1			1				
退所者数と退所事由	1						1	

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1		1					
退所者数と退所事由	9			1	6		2	

1-3 短期入所(ショートステイ)利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1460	1155	3.2	79.1

1-4 地域生活支援事業(日中一時支援事業)利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	71	0.2

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	1	0.004

1-5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女	
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区大泉		1	
市川市	1		若葉区	1	1	練馬区石神井		2	
松戸市	1					台東区		1	
香取市	1					江東区	1		
茂原市	1		計	2	1	渋谷区		1	
成田市	1	1	合計	3		世田谷区北烏山		1	
佐倉市	5	4	【新潟県】			世田谷区	1	1	
匝瑳市	1					魚沼市		1	足立区（東部）
酒々井町	1					目黒区		2	
柏市	3	1				八王子市	1		
君津市		1				小金井市	1		
我孫子市	1		計		1	青梅市	1		
船橋市	2	1	合計	1		狛江市		1	
大多喜町	1					西東京市		3	
長生村		1							
八街市	1								
習志野市		1							
四街道市		4	計						
			合計						
計	21	15							
合計	36								
							計	5	14
							合計	19	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	11	6	17			
四街道市	8	12	21			
習志野市	1	0	1			
千葉市	4	2	6	男	女	合計
成田市	0	1	1	24	21	45

2 利用者の状況 (R3 年度中在所した全利用者)

2-1 年齢構成 (年齢は 2021. 4. 1 現在)

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	56	0	2	3	5	28	14	4	54	86	23
%	100	0	3.6	5.4	8.9	50.0	25.0	7.1			
男	26	0	1	3	4	12	5	1	51	74	26
女	30	0	1	0	1	16	9	3	57	86	23

② 根郷通所センター

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	45	1	22	13	6	3	33.7	73	18
%	100	2.2	48.9	28.9	13.3	6.7			
男	24	0	11	7	4	2	35.0	73	20
女	21	1	11	6	2	1	31.9	52	18

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	56	0	0	0	3	14	39	23
%	100	0	0	0	5.4	25.0	69.6	
男	26	0	0	0	1	5	20	12
女	30	0	0	0	2	9	19	11

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	45	0	0	7	13	13	12
%	100	0	0	15.5	28.9	28.9	26.7
男	24	0	0	3	8	8	5
女	21	0	0	4	5	5	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	56	31	5	1	2			17
%	100	55.4	8.9	1.8	3.6			30.3
男	26	18	3	0	0			5
女	30	13	2	1	2			12

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	45	13	0	2	2	0	1	27
%	100	28.9	0	4.4	4.4	0	2.2	60.1
男	24	5	0	2	1	0	1	15
女	21	8	0	0	1	0	0	12

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	56	7	26	6	5	12
%	100	12.5	46.4	10.7	8.9	21.4
男	26	4	10	1	2	9
女	30	3	16	5	3	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	45	20	17	5	2	1
%	100	44.5	37.8	11.1	4.4	2.2
男	24	10	10	3	0	1
女	21	10	7	2	2	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	56	23	14	37	19
%	100	41.1	25.0	66.1	33.9
男	26	14	7	21	5
女	30	9	7	16	14

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	45	9	5	14	31
%	100	20	11.1	31.1	68.9
男	24	5	2	7	17
女	21	4	3	7	14

### 3-2 知的障害

#### ① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	56	11	31	8	5	55	1
%	100	19.6	55.4	14.3	8.9	98.3	1.8
男	26	7	14	2	2	25	1
女	30	4	17	6	3	30	

#### ②根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	45	20	17	5	2	43	1
%	100	44.5	37.8	11.1	4.4	95.6	2.2
男	24	10	10	3	0	23	1
女	21	10	7	2	2	21	0

### 3-3 障害の状況（総括）

#### ① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	56	37		3			56	1	
%	100	66.1		5.4			100	1.8	
男	26	21					26	1	
女	30	16		3			30		

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### ② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	45	14	6	0	0	3	44	5	21
%	100	31.1	13.3	0	0	6.7	97.8	11.1	46.7
男	24	7	3	0	0	2	23	3	11
女	21	7	3	0	0	1	21	2	10

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

めいわ

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイキング	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助 %	3 5.4	3 5.4	3 5.4	3 5.4	28 50.0	3 5.4	3 5.4
常時多面で介助 %	9 16.1	6 10.7	30 53.6	7 12.5	17 30.4	10 17.9	41 73.2
時々部分的に介助 %	34 60.7	35 62.5	22 39.3	28 50.0	6 10.7	32 57.1	7 12.5
点検・配慮程度 %	10 17.9	12 21.4	1 1.8	18 32.1	5 8.9	10 17.9	4 7.1
自立 %	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1.8	1 1.8

3-5 コミュニケーションの状況

めいわ

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可 %	15 26.8	7 12.5	46 82.1	55 98.2	56 100
一部で可能 %	10 17.9	19 33.9	5 8.9	0 0	0 0
だいたい可能 %	31 55.4	30 53.6	5 8.9	1 1.8	0 0
支障なし %	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

#### 4 援助サービスの実施状況

##### ① めいわ

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	新型コロナウイルス感染症対策のため施設ごと、午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行なった。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	生ごみ投入や袋詰めなどの堆肥生産。地域の方と交流するユニバーサル農業での野菜配達を行なった。
手工芸班	さをり織りと洗濯たたみを行った。さをり織りについては新たな販売先としてネット販売を開始し販売を始めた。
新設班	地域新聞の配達、アルミ缶等資源回収作業。地域貢献活動を行なった。
創作班	牛乳パックをリサイクルして、紙漉き、販売用品を作成。
受注作業班	マグネット組み立て、点字名刺作成、銀のさらやおしぼりの封入作業。
いろどり班	高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩。
<b>余暇活動</b>	
音楽	利用者自由参加 カラオケ他、音楽に合わせて身体を動かす。
太鼓	利用者めいわ 5 名 月1回の太鼓練習(参観は自由)、めいわ内行事で演奏。地域の行事への参加は行わず。
その他	※ 新型コロナウイルス感染防止のため活動は中止。委員会として感謝の手紙を送った。 ・茶道ボランティア ・傾聴ボランティア ・音楽ボランティア  ※ 年末年始等活動休み期間 ・紅白歌合戦、スポーツレク、餅つき、風呂開放日(自由入浴)等
あおばの会	利用者自治会活動(1回/月) 総会(役員選出、行事の利用者代表者、朝の放送等の係り決め)

##### ② 根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行なった。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
木工班	スウェーデントーチ、一輪挿しの制作をおこなった。
陶芸班	多肉植物を植える器作りを行なった。
受注作業班	宅配寿司のセット組、パンフレットの封入、地域新聞のポスティング作業を行なった。
<b>※グループ活動</b>	
散歩	日中活動終了後に実施。

5 運営管理

5-1 職員状況

① めいわ

	2021.4.1 現員数	2021.4.1～2021.3.31				2022..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	42(4)	2(0)	3(0)	6(0)	3(0)	40(4)
施設長	1		1	1		1
支援課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	38(4)	2	2	5	3	36(4)
クリーンスタッフ						
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

② 根郷通所センター

	2021.4.1 現員数	2021.4.1～2022.3.31				2022..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	22(11)		2(0)	3(0)		20(10)
施設長	1		1	1		1
支援課長(所長)	1					1
主任	1			1		0
生活支援員	18(9)		2	3	1(1)	17(8)
クリーンスタッフ	2(2)					2(2)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、退職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

★網掛は兼務のためカウントしない

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
7/14	介護マイスタ研修	3			
7/15-16	他施設体験（総合相談センター）	1			
10/28	法人人権擁護研修	9			
11/25	4年目職員対象研修	2			
12/3	中堅職員リフレッシュ研修	3			
施設外					
6/1	東社協研修（zoom）	1	1/20-21	千葉県強度行動障害者支援研修（出張）	2
7/3-4	歩行訓練士研修（zoom）	1	1/28	千葉県知的協会権利擁護委員会研修 zoom	4
11/18	千葉県障害者虐待防止・権利擁護マネジャー研修（zoom）	4	R4. 2/2	東京都入所施設分科会学習会（ICT-zoom）	2
11/26	全国盲重複障害者福祉施設協議会全国大会（zoom）	15	3/4	東社協研修（虐待防止-zoom）	4
12/1	社会福祉施設における防災対策（出張）	1	3/5	千葉県てんかん支援拠点病院市民講座 zoom	4
12/4-5	日本歩行訓練士研修 zoom	1	3/12	強度行動障害のある支援者に対する研修実践報告 zoom	8
12/9	東社協研修（高齢期支援-zoom）	3	3/11	東社協研修（虐待防止委員会-zoom）	3
12/16	強度行動障害支援アドバンス zoom	1	3/15	サービス管理責任者更新研修	1
12/17	日中活動支援部会研修（zoom）	3	3/23-24	千葉県強度行動障害支援養成者研修	1
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
千葉県相談支援従事者研修			9/6, 22, 24		1
千葉県強度行動障害者支援研修			10/26, 27		1
千葉県 DWAT 研修（zoom）			10/26、11/2		2
介護福祉士実習指導者研修			11/21、28、12/5, 12		1
千葉県強度行動障害者支援研修			12/3, 8		1
自閉症連続基礎講座			12/3, 10, 17		3
日本歩行訓練士研修			12/4, 5		1
千葉県相談支援事業従事者現任研修			12/9, 2/10, 14, 15		1
福祉サービス苦情解決研修			12/6、2/8		2
千葉県相談支援初任者研修			12/14, 16		3
千葉県障害者虐待防止・権利擁護研修			1/14, 31		2
千葉県障害者虐待防止・権利擁護研修			1/19, 2/9		2

② 根郷通所センター

施設内		
月 日	研修名	人数
	新型コロナウイルスの影響により自粛	
施設外		
	新型コロナウイルスの影響により自粛	
複数研修		
研修内容	月 日	参加人数
新型コロナウイルスの影響により自粛		

5-3 実習受け入れ状況

①めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/14~6/17	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
6/21~6/24	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
6/21~10/9	専門学校新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
8/11~9/8	和洋女子大学	社会福祉士	1
8/23~9/6 2/7~2/22	江戸川学園おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
9/6~10/8	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
9/13~9/15	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
9/28~10/1	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	2
10/4~11/5	城西国際大学	社会福祉士	3
11/8~12/10	城西国際大学	社会福祉士	1
11/8~12/7	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
1/20~2/4	千葉明德短期大学	保育士	2
2/7~2/25	目白大学	保育士	2
2/28~3/18	目白大学	保育士	1
2/28~3/18	千葉敬愛短期大学	保育士	2
3/22~4/8	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	2

②根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/31~6/14	千葉明德短期大学	保育士	2
6/16~18	二葉看護学院	看護師	4
6/21~7/5	千葉明德短期大学	保育士	2
7/15~8/3	帝京平成大学	保育士	2
8/1~23	千葉女子専門学校	保育士	1
8/23~9/4	聖徳大学	保育士	3
9/6~25	大原医療保育福祉専門学校	介護福祉士	2
9/13~15	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
9/27~10/12	帝京平成大学	保育士	2
11/8~10	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	3
11/24~26	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
1/31~2/18	帝京平成大学	保育士	2
2/7~25	千葉敬愛短期大学	保育士	1
2/21~3/10	千葉明德短期大学	保育士	1
3/14~30	千葉明德短期大学	保育士	1

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
7月	※コロナ対応のため8月に延期
8月	納涼祭(20) 歓迎会(25)
9月	敬老会(20)
11月	おひさま祭(29)
12月	忘年会(17)
1月	新年会(10)
3月	送別会(23)

② 根郷通所センター

月	行事内容
3月	やよい会

## 障害者支援施設

## リホープ

## 概況

当年度のスローガンは、前年度に続き「高齢化対応・意思決定支援の強化」とした。平均年齢が62歳となり高齢化が加速している。令和3年5月に利用者1名が介護が必要となりはちす苑へ移動となった。また、コロナ禍の中、内部行事の充実を図った。

## ○本年度数値目標

- ・稼働率 施設入所：98%→96.8% 短期入所：70%→42% 生活介護：96%→92.1%
- ・入所満床確保 50床→49床

## ○入退所・生活介護利用調整制度の確立

- ・9月21日にルミエール・めいわ・リホープ合同の会議を実施し、12月1日までに他施設へ移動可能な利用者をリストアップすることとなり、12月1日にルミエール・めいわ・リホープの2回目の合同会議を実施し、各施設で作成したリストの確認を行った。2月8日の3回目の会議で、今後も林相談員を窓口とし、入所希望の多い「めいわ」を入口として、ルミエール・リホープに振り分け待ちの無いスムーズな入所に繋げていく。

## ○収支改善

- ・入所利用者の確保について、5月にはちす苑へ1人移動となり、1床空いていたが11月時点で1月に1人入所が決まり安堵していた。しかし、12月に1人が病気で死去され、再度空床となってしまった。また、短期入所に関してはコロナの関係で4月～9月まで利用を中止としていたため稼働が激減した。

## ○職員のスキルアップ

- ・オンライン研修を積極的に受講することにより、多くの職員が研修に参加することができた。また、法人内の別部署のPTが月に1回来所しアドバイスを貰えることとなり、職員のリハビリに関するスキルアップが図れた。地域移行を目指す利用者が1人おり、年度当初よりご家族を交え担当者会議を数回開催すると共に、利用者が移行したい地域の住宅や作業所の見学も実施したことで担当職員のスキルアップにも繋がったと思う。

## ○リハビリ・自立訓練可能な体制の構築

- ・年度当初から自立訓練プログラムの検討を行いマニュアル作成も行っている。しかし、歩行訓練に関しては専門職の関われる時間が取れず、継続的な訓練の実施ができなかった。専門職の確保のため職員の視覚障害者生活訓練等指導者養成課程の受講を検討。

## ○災害時の事業継続

- ・新規の事業継続計画書が2月に出来上がり、2月～3月にかけて各施設で事業継続計画書作成のための委託業者から内容の説明と訓練が実施される。また、緊急時における災害用伝言ダイヤルの活用について職員への周知を実施すると共に、ご家族・後見人へ案内を郵送する。

## ○ICT導入による業務の効率化

- ・インカムのデモを実施したが、リホープにおいては現状のスマホでの内線連絡で充分との結論に至った。また、勤務表作成ソフトの説明を受けたが、業務の効率化に結びつか費用対効果等を考慮し、検討中である。最終的に現在使用中の支援システム（ほのぼの）の更新以外は導入しなかった。

## 【その他】

- 第三者委員による懇談会 12月5日実施

1 施設利用状況（2021. 4. 1～2022. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18250	17880	17633	48.3	96.6	617	372	216	29	2	3

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			2				
退所者数と退所事由	3				2		1	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	730	311	0.4	42.6

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	3		稲毛区		2	板橋区志村		1
市原市	2	1	中央区	1		足立区	1	
柏市		1	若葉区	2		練馬区大泉	2	
香取市	1		美浜区		1	練馬区石神井	1	
鴨川市	1		緑区	1		大田区	1	
袖ヶ浦市		2	計	4	3	3	2	
館山市	1		合計	7		葛飾区		1
東金市		1	【埼玉県】			計	7	2
流山市	1		春日部市	1	1	合計	9	
野田市	1		白岡町	1				
旭市	1							
船橋市	3					【茨城県】		
茂原市	1		計	2	1	鹿嶋市	1	
八街市		1	合計	3				
八千代市	1							
佐倉市	2	4	【神奈川県】			計	1	
長南町		1	大和市	1		合計	1	

成田市	1				
四街道	1				
計	20	11		計	1
	合計	31		合計	1

## 2 利用者の状況（2021年度中在所した全利用者）

### 2-1 年齢構成（年齢は2021.4.1現在）

	総数	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	52	1	5	2	4	9	16	12	3	59.3	88	18
%	100	2	10	4	8	17	30	23	6			
男	35	1	5	1	3	5	9	8	3	57.9	88	18
女	17	0	0	1	1	4	7	4	0	62.2	79	36

### 2-2 障害程度区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	52	0	0	1	21	16	14
%	100	0	0	2	40	31	27
男	35	0	0	1	15	9	10
女	17	0	0	0	6	7	4

### 2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	52	40	5	0	1	0	0	6
%	100	77	10	0	2	0	0	11
男	35	29	3	0	1	0	0	2
女	17	11	2	0	0	0	0	4

### 2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	52	0	7	4	7	34
%	100	0	13	8	13	66
男	35	0	3	3	5	24
女	17	0	4	1	2	10

### 2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	52	16	6	5	22	14	1	2
%	100	30	12	10	42	27	2	4
男	35	9	3	4	16	8	1	2
女	17	7	3	1	6	6	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	52	22	30
%	100	42	58
男	35	16	19
女	17	6	11

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	52	32	12	44	8
%	100	62	23	85	15
男	35	22	10	31	3
女	17	10	2	12	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	52	0	6	4	7	17	35
%	100	0	12	8	13	33	67
男	35	0	2	3	5	8	25
女	17	0	4	1	2	7	10

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	52	44	8	5	0	1	36	13	12
%	100	85	15	10	0	2	69	25	23
男	35	32	5	4	0	1	22	9	9
女	17	12	3	1	0	0	14	4	3

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイク	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	3	0	4	0	17	4	39
%	6	0	8	0	34	8	74
常時多面で多介助	7	1	2	1	9	6	5
%	14	2	4	2	17	12	10
時々部分的に介助	9	5	20	3	10	10	3
%	17	10	38	6	19	19	6
点検・配慮程度	10	38	10	21	8	19	2
%	19	73	19	40	15	36	4
自立	23	8	16	27	8	13	3
%	44	15	31	52	15	25	6

### 3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	音声パソコン
不可	0	0	39	33	43
%	0	0	74	63	82
一部で可能	2	4	4	3	6
%	4	8	8	6	12
だいたい可能	0	0	6	2	3
%	0	0	12	4	6
支障なし	50	48	3	14	0
%	96	92	6	27	0

### 4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	2階浴室の入口の下のレールをフラットにするために、吊り下げ式のドアに変更した。その他にもグレーチングを樹脂製の物に変更、手すりの設置、個浴槽の設置を行った。感染症対策として、利用者が利用する水道を自動水栓に変更した。
各種専門的訓練 及び 日中活動	<p>【受注】 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司や釜飯のセット組、マグネット組立、消しゴム袋詰め、サンプル商品の袋詰め、はがきやチラシの袋入れ、点字名刺、紙袋の袋詰めを行った。 (利用者 14名参加)</p> <p>【園芸】 花苗の栽培を行った。物井駅ヤックス前、南図書館の花壇整備も行っている。 (利用者 7名参加)</p> <p>【いろいろ】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、散歩などを行った。(利用者 8名参加)</p> <p>【手工芸】 さをり織り、さき織りを行っている。(利用者 9名参加)</p>
ケアマネジメント	個別支援計画を毎月の高齢支援プロジェクト、自立支援プロジェクト、フロア会議で進捗状況や課題を共有し、利用者支援を行った。高齢支援プロジェクトでは、生活リハビリを積極的に行い、体力維持に努めたが、機能低下が著しく、単独歩行が難しくなった利用者もいる。自立支援プロジェクトでは地域移行や施設内自立を目指し、歩行訓練やパソコン訓練等に取り組んだ。利用者1名が2月にグループホームへ移行した。
保健・医療	咀嚼、嚥下について課題がある利用者の対応について、口腔ケアを専門とする歯科との連携を取ることになり、高輪会との契約を結んだ。言語聴覚士による食事の状態の確認や咀嚼、嚥下の評価を受け、食形態の変更も行っている。利用者3名が癌との診断を受けた。手術で取り除けた利用者はほぼ元の生活に戻っているが、治療が難しいと判断された利用者は症状が出始めてから2ヶ月で亡くなられた。癌検診についても検討する必要があると感じた。

余暇活動	<p>バリアフリー映画の上映、余暇行事を毎月行った。外出が可能な時期には希望に添い、買い物や外食に出かけた。カラオケクラブは毎月実施。マラソンクラブは2ヶ月に1度、音の出るボールを使って体を動かす等行った。鉄道クラブも2ヶ月に1度、鉄道のDVDを見たり、電車の発車メロディを聞いて楽しんだり、電車に乗れなくても楽しめることを行った。散策クラブは外出可能な時期に、少人数に分かれ、九十九里とさわらへの日帰り旅行を楽しんだ。エレクトーンクラブは施設内行事での演奏を初め、余暇行事としてエレクトーンクラブ主催の音楽カフェを開催し、全13曲を演奏した。</p>
自治会活動	<p>約20年ぶりに会長が交代した。自治会主催で、夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会を行った。感染症対策に気を配りながら、利用者が主体となり、役割を分担しながら企画、進行した。会長は2月にグループホームへ移行した為、3月は副会長中心に活動を進め、次年度は新たな会長を選出することになる。</p>

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2021.4.1 現員数	2021.4.1~2022.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	33 (6)	1	3	4	2	30 (6)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	26 (5)	1	3	4	2	23 (5)
清掃	1 (1)					1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	0					0
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/5・6	WEBセミナー見る摂食嚥下障害の基礎と食べる訓練	4	10/25	嚥下研修	12
7/15・8/27	介護マスター研修	2			
施設外					
6/4	感染症リーダー研修	1	11/26	全国盲重複障害者福祉施設研究協議会 事例発表会	12
8/25・26	防火・防災管理新規講習	1	11/29	令和3年度虐待防止研修	2
9/9	盲重研施設セミナー	1	12/4・14	DWAT研修	1
9/9	感染症防止対策研修	2	12/6	令和3年度福祉サービス苦情解決研修会基礎編	1
9/9	全国盲重複障害者福祉施設研究協議会施設長セミナー	1	1/29	権利擁護支援者養成研修	1
9/13	グループホーム研修会	1	12/6	令和3年度福祉サービス苦情解決研修会基礎編	1
9/26	障害者施設等の新型コロナウイルス感染防止対策研修	2	1/29	権利擁護支援者養成研修	1
10/16～17	リカバリーフォーラム	1			
10/25～30	はちす苑研修	1			
11/2	DWAT研修	1			
11/12	福祉を考える集い コロナ禍における地域福祉のあり方	1			
11/18	障害者虐待防止・権利擁護研修	1			
複数研修					
研修内容			月日		参加人数
マッチング研修			4/6		2
ガイドヘルプ研修			4/7		4
青山先生の介護			5/19		12
てんかん研修			8/23		13
大胡田弁護士「心の壁を超えるには」			8/23		16
高齢期の生活課題を改めて見直す			11/24		13
成年後見制度			1/24		12
メンター話し方講座			7/14		4
権利擁護研修			10/28		9
障がい者支援の理念とは「障害者総合支援法の理解」研修			7/2 7/13 7/16 12/10		4

障がい者福祉とは 障がい者とは研修	7/7 7/9	2
障がい者福祉とは 支援者への期待研修	7/7 7/9	2
障がい福祉について支援のマナー	7/9	1
障がい者支援の理念とは「支援者の虐待を防ぐ」研修	7/13 7/16	2
障がい者支援の理念とは「障害虐待防止法の理解」研修	7/13	1
障がい者支援の理念とは「障がい者の権利擁護と尊厳」研修	7/13 7/16	2
自閉症研修①	7/20	1
自閉症研修②	7/20	2
自閉症研修③	7/20	1
てんかんとはてんかんの分類研修	7/23	5
てんかん研修	7/23 7/26	12
防災、BCP（RICOH）研修	7/24	2
個別支援計画とケース記録①研修	9/10	1
「個別支援計画の重要性」研修	7/27	1
「アセスメント研修」とは研修	7/23	1
高齢知的障がい（受講者 Q&A 通信 障害者総合支援法と介護保険制度、他）研修	7/27 8/10 11/5 2/4	4
高齢知的障がい（高齢期の生活課題を改めて見直す）研修	8/10 11/5	2
高齢知的障がい（認知症と知的障がい高齢者）研修	8/10 11/5 1/7 2/4	3
高齢知的障がい（からだところの老い）研修	8/10 11/5 1/7 2/4	4
事例で考える OJT での指導のコツ研修	2/4	1
精神障がい者の基本的特性研修	8/19 8/27 8/31	3
精神障がいの概要研修	8/19 8/27 8/31	3
「高次脳障がいとは」研修	8/19 1/27	2
「精神障がい者の支援」研修	8/19 8/31 1/27	3
会議の基本的な進め方研修	8/20	1
会議進行役のためのよき会議の作り方研修	8/20 1/7	2
会議決まった事の周知と実践研修	8/20 1/7	2
事例で考える！イマイチ会議攻略のヒント研修	8/20 1/7	2
支援者の自己覚知とセルフマネジメント	8/31 2/4	3
個別支援計画とケース記録	9/10 9/11 10/14 10/28	10
身体的自立の4要素（運動・便通）	10/6 2/4	3
身体的自立の4要素（水分・栄養）	10/12 2/4	3
自立支援介護と身体的自立	10/6 2/4	2
身体的自立へ今すぐ行おうと取り組み研修	10/12 2/4	3
災害時の障害者支援	2/4	1

会議の目的と役割	1/7	1
利用者ニーズを決めるのは研修	10/28	1
災害に対応できる福祉施設研修	10/28	2
福祉避難所を考える研修	10/28	1
アセスメントのツボと課題研修	11/10 12/10	2
ニーズ把握の困難な利用者へのアセスメント研修	11/10 12/10	2
個人を取り巻く世界全体へのアセスメント研修	11/10	1
自己決定・意志決定支援へのアセスメント研	11/10 12/10	2
ノロウイルス流行性胃腸炎二次感染の防止研修	11/7	1
「グループホーム」のミッションとは研修	11/17	2
ストレンクスとリフレーミングの活かし方研修	11/25 12/20	4
事例で考えるストレンクスとリフレーミング研 修	11/25	1
ストレンクス技法とは研修	11/25	1
ファシリテーションの基本ツールと活用場面研 修	12/6	1
ファシリテーションの技術 収集—共有研修	12/6	1
ファシリテーションの技術 会議の技術—発表	12/6	1
ファシリテーションに基礎研修	12/6	1
障害者との関係構築 障がい者との家族との信 頼関係構築研修	12/10	2
障害者との関係構築 障害者のニーズと支援	12/10	1
障害者との関係構築 障害者とのコミュニケー ション研修	10/28 12/10	5
面談をさらにレベルアップするための研修	12/10	1
障害者との関係構築 ふかぼりQ研修	12/10	1
虐待防止の理解	7/16 12/10	2
個別支援計画の目的研修	12/10	1
統合失調症①	1/7 2/3 2/4	3
統合失調症②	1/7 2/3 2/4	3
統合失調症③	1/7 2/3 2/4	3
統合失調症④	1/7 2/4	2
みんなで取り組むストレス対策研修	1/4 2/14 2/25	3
自分でできるお勧めストレス研修	1/4 2/14 2/25	3
ストレスを正し理解する研修	1/4 2/14 2/25	2
高次脳機能障がい者の支援研修	1/27	1
利用者意向の把握研修	2/4	2
リフレーミングとは研修	11/25	1
ICTで読む、聴くを支援 障がい者におけるICT 研修	2/25	1

ICT でコミュニケーション時間などを支援研修	2/25	1
ICT 支援の現場への導入	2/25	1
障害者における ICT を活用して苦手を克服研修	2/25	1
意思決定支援研修	2/25	1
個人情報の理解	3/29	1
事例で学ぶ！個人情報の落とし穴①	3/29	1
事例で学ぶ！個人情報の落とし穴②	3/29	1
事例で学ぶ！個人情報の落とし穴③	3/29	1
ハラスメントは何か	3/29	1
社会問題化するハラスメントの発生と影響	3/29	1
ハラスメントのセルフチェック	3/29	1
ハラスメントの組織的予防と対策	3/29	1
セルフマネジメント	3/24	1
ストレスを正しく理解する	3/24	1
リスクマネジメントとは	3/23	1

### 5-3 実習受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
5. 12~5. 28	NHK 学園	社会福祉士	1
6. 7~6. 10	中央介護専門学校	介護福祉士	1
6. 14~6. 17	中央介護専門学校	介護福祉士	1
6. 16~6. 18	二葉看護学院	看護師	1
6. 21~6. 24	中央介護専門学校	介護福祉士	1
6. 30~7. 5	NHK 学園	社会福祉士	1
6. 30~7. 11	東京通信大学	社会福祉士	1
8. 2~8. 28	淑徳大学	社会福祉士	2
8. 23~9. 13	江戸川おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
8. 23~9. 24	淑徳大学	社会福祉士	1
8. 30~10. 1	和洋女子大学	社会福祉士	2
8. 30~10. 1	淑徳大学	社会福祉士	1
9. 28~10. 3	NHK 学園	社会福祉士	1
10. 4~11. 5	城西国際大学	社会福祉士	3
11. 8~12. 10	城西国際大学	社会福祉士	3
12. 13~12. 18	NHK 学園	社会福祉士	1
1. 13~1. 23	NHK 学園	社会福祉士	1
1. 31~2. 25	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
1. 31~3. 5	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
2. 28~3. 18	目白大学	保育士	1
3. 7~3. 12	NHK 学園	社会福祉士	1
3. 22~3. 28	新国際福祉カレッジ	社会福祉主事	1

## 6 行事実施状況

月	行 事 内 容
4月	お花見をしよう(4)
5月	外出で美味しいものを食べよう(5) 美味しいものを食べよう(8) 美味しいご飯と買い物で一日満喫しよう!(8) 久しぶりの外出!(9) いいかい買い物をしよう。(16) 運動してストレス発散をしよう!(16) 久しぶりの外出で食事と買い物を楽しもう(23) 妹さんの誕生日プレゼントを買おう。(23) 大好きなスパゲッティを食べよう。(23) イトウヨーカドウでお買い物(30) 成田イオンでお買い物&外食(30)
6月	美味しい物を食べよう。(5) 大好きなコナンを観に行こう!(6) 焼肉きんぐで食べ放題! (13) 1年ぶりの外出楽しみです(13) 『男はつらいよ』上映会 ~和菓子を片手に~(27) 誕生日プレゼントを買いに行こう!(27)
7月	久しぶりの外食を楽しもう!(4) 誕生日祝い!退院祝い!まとめて全部♪(10) 買い物を 楽しもう(17) 外出で美味しい物を楽しもう(18) 二足くらい早いバレンタイン!(チ ョコレートファウンテン)(22)
8月	外出で食事と買い物を楽しもう!(1) 夏を楽しもう会 2021(29)
9月	9月だってまだまだ暑い!スイカ割がしたい!(5)
10月	美味しいご飯を食べて気分を高めよう!(3) 買い物を楽しもう(23) オレンジカフェ(24) 美容院と買い物に行きリフレッシュしよう!(24) ユーカリが丘イオンで買い物&外食 (24) ハローハロウィン(お菓子作り)(31)
11月	いい買い物をしよう。(3) 外食と買い物に行こう!(6) お酒は酔っぱらいたくないので 飲みません(7) 大好きな映画を観て美味しいご飯を食べに行こう!(7) 散策クラブ 水 の郷佐原で散策(13) 食事外出(14) イトウヨーカドウでお買い物(14) 九十九里を散策 しよう。(20) 美味しいご飯と買い物を楽しもう(28) 千葉視生会の定期総会に参加しよ う(28) エレクトーンクラブによる音楽会(28)
12月	大好きな嵐に会いに行こう(5) 美味しい物を食べに行こう(11) 高橋さんの復帰岩井を しよう!(12) スシローで好きなネタを食べよう。(18) おいしいものを食べに行こう(19) 若宮寿司に行こう(19) もみの木会(26)
1月	一足早く春を感じる、お菓子作りをしよう(5) 伸びた髪の毛を切ってすっきりし買い物 してリフレッシュ(8) お誕生日会をしよう(9) 船橋で買い物を楽しもう(10)
2月	マラソンクラブの締めくくりはコメダ!(19)
3月	弥生会(20)
毎月	カラオケクラブ、エレクトーンクラブ

## 概況

昨年度に引き続き、コロナの逆境を利用して“販路拡大と商品開発に力を注ぐ充電期間”として活動を行った。その際に常に念頭に置いたのは“質の高い商品を世に送り出す”ことであった。

利用者が携わった仕事（商品）の価値を高めるのは我々の仕事であり、その先にはノーマライゼーションの実現と利用者の社会参加が見えてくる。その願いを込め、愛光の自主生産品を世に広めるべく作業班ごとにブランド名を付けることとした。

コロナ禍により販路は依然として断たれた状態ではあるが、新たな販路を開拓すべくインターネット販売を開始した。ショップ名は全職員を対象に公募を行い“i-koubow（アイコウボウ）”と名付けた。商品のラインナップとブランド名・ロゴマークは、現場のアイデアが盛り込まれている。



## －ブランド名－

- “i-koubow”（メイン） 『愛光』と『工房』を掛け合わせた造語
- “f a l o”（木工班） イタリア語で篝火（かがり火）を表す
- “灯 工 房”（陶芸班） 窯の名前が灯り窯であったことから引用
- “紬 人”（手工芸） 『人と人とを紬』の意を込めた
- “H A N A”（園芸班） 『華のある班』と『花のある班』をかけた
- “HINATA”（農耕班） 利用者が名付けた農場ひなたより引用

## －由来－

## ○サービス目標

- ・コロナの影響を受け作業収入が経費を大きく下回った。昨年も同様の事態が発生していたが工賃については給付費を活用しての支払いを実施することとしたが、下半期の工賃より給付費を活用して支払いは控えることとなった。利用者には経緯を説明し、今後、収入が経費を上回った場合は“工賃の支払いを再開”する旨を伝えている。

## ○地域連携目標

- ・関東一円で伐採事業を行っている（株）北総フォレストより木廃材の無償提供を受けることとなった。これを期に木廃材を再利用し一輪挿しの製作に着手することとなる。完成した商品は木工作家に引けをとらない出来栄でインターネット販売にまで漕ぎつけることができた。
- ・新型コロナウイルスの影響により、外部からの受入れを断続的に休止していた「愛光健康堂」であるが、感染状況を考慮しながら地域のニーズに応えた。

## ○業務遂行目標

- ・昨年度から引き続き、各施設単位での活動を行ってきたが、その動きも完全に定着し、各施設ともにメリットが大きいとの声が聞かれている。施設毎に障害の内容や年齢は様々であるため、支援体制の構築がし易く、小回りが利きやすいことが利点となった。
- ・リハビリ班の班名を“いろどり班”に変更することとした。以前より、リハビリを目的としている班ではないとのことで名前を変更したいとの声現場から挙がっていた。いろどり班の由来は、“現役を引退した人が中心として集まり“人生が彩るような活動”を提供するとの意味を込めたとのことである。

## ○人材育成目標

- ・日中活動支援部会全国大会（秋田大会）にウェブにて参加。埼玉に拠点を構える『みぬま福祉会』の実践として、アート（表現活動）を通して自己実現に向かうという発表がなされた。利用者が生み出すアートを世界から評価されるまでに高めた職員のマネジメント力には目を見張るものがあった。
- ・現在、各作業班のリーダーを中心に勢力的な取り組みが行われている。受注班では収入がアップし、自主生産品の質の向上も見られた。農耕班に至っては環境整備の徹底が行われ作業場移転の話も挙がっている。更なる飛躍を期待したい。

（日中活動コーディネーター 菊地 暁生）

## グループホーム 山王の家

## 概況

当年度のスローガンは、「地域の中で、自分らしい生活を」である。

新型コロナウイルス感染症に伴う影響で、戦略目標として掲げた「地域で普通に暮らすことができる」について、山王夏祭り等の地域の行事が全て中止となったため、山王の家での自粛生活が強いられた。不要不急の外出自粛が叫ばれている中、毎週末帰省している利用者、就労・通所している利用者については、交通機関の使用があるため、出入りの際は消毒を徹底してきた。

感染症対策については、平日の午前中に利用者が出掛けた後、世話人が全共有スペースの消毒を最優先におこなっている。

昨年度の3月に世話人が1名退職し、当年度の8月に新たに世話人を採用するまでの期間、根郷通所の職員が交代で世話人業務を補ってきた。また、めいわ入所部で新型コロナウイルスへの感染が疑われた際は、根郷通所の職員だけで宿直業務を補った。11月からは、人員配置の関係からリホープの職員2名の宿直者が退くこととなり、根郷通所とめいわ入所部の職員で宿直を補っている。

## ○数値目標（稼働率）

- ・目標 95% ⇒ 実績 93.8%

## ○戦略目標

- ・今年度の入所についての問い合わせは2件あった。1件については、知的障害のない視覚障害者、もう1件については、即日入居希望であったため、いずれも待機者として該当とならず、入居希望者のリストアップに繋がらなかった。2020年12月に1名退所後、根郷通所センターの利用者1名が4月26日から山王の家に入居し、現在満床である。
- ・365日、職員が交代で常駐し、利用者の希望者に沿った楽しみ方を提供し、美容院や買い物等の外出には希望があれば同行もおこなっており、利用者からの不満等はなく、利用者間のトラブルも起きていない。また、利用者へ提供している夕食について、高齢者向けのヘルシー食であったことから、ボリュームのあるメニューへ変更をおこなった。
- ・7月の人事異動により管理者とサービス管理責任者が変更となった。それに伴い、防火管理者も代わっている。9月と3月に避難訓練を実施した。その際、2階の利用者が避難する場合に1階へ降りる手段が屋内の階段しかないことが課題となった。避難梯子の購入等を今後検討しなくてはならない。
- ・記録ソフトの更新を8月に実施し、業務の効率化を図った。導入した記録ソフトの確認をおこなってきたが、グループホームという施設上、ICT化の必要性は感じられず、今後の改善も必要もないと思われる。

（管理者 高梨和憲）

1 利用状況 (2021. 4. 1~2022. 3. 31)

1-1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,650	3,620	3,425	9.4	93.8	1	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1	0	0	1	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	6	1	7
四街道市	1	1	2
柏市		1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2020. 4. 1 現在)

	総数	18~	20~	30~	40~	平均年齢	最高齢	最年少
総数	10	0	1	5	4	40	57	22
%	100	0	10	50	40			
男	7	0	0	3	4	45	57	33
女	3	0	1	2	0	30	37	22

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	10	1	0	0	9
%	100	10	0	0	90
男	7	1	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	10	0	0	0	0	0	0	10
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	7	0	0	0	0	0	0	7
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	10	0	0	1	8	0	0	1
%	100	0	0	10	80	0	0	10
男	7	0	0	1	5	0	0	1
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	10	3	7
%	100	30	70
男	7	3	4
女	3	0	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	10	0	0	0	10
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	3	0	0	0	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声 言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	10	0	0	0	0	0	10	1	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	10	0	0
男	7	0	0	0	0	0	7	1	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### 4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝はチルドの食事を提供し、本人達に和食、洋食を選んでもらい提供している。また、夕食は業務用献立配達システムを利用し利用者と一緒に調理を行っている。
体調管理	健康状態の把握。薬の管理。突発の際の通院付き添い。

#### 5 運営管理

##### 5-1 職員状況

職名	2021.4.1 現員数	2021.4.1~2022.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	4 (4)			1		7 (6)
管理者	1 兼		1 兼	1 兼		1 兼
サービス管理責任者	1 兼		1	1 兼		1
生活支援員	17 兼					16 兼
世話人	4 (4)		2 (2)			6 (6)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ入所部・通所部、よもぎの園)兼務

##### 5-2 職員研修の状況

施設内					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
施設外					
		1			
複数研修					
研修内容			月日		参加人数

##### 5-3 行事实施状況 (2021.4.1~2022.3.31)

月	行事内容
9/27	避難訓練
3/11	避難訓練

## IV. 佐倉圏域事業部



## 概況

当年度のスローガンは「はたらいて笑顔に そして新しい挑戦！」とし、受注作業として新たにパネル洗浄の仕事を導入し、利用者の能力に合った作業方法の模索と作業効率の向上を目指して皆で意見を出し合い取り組みを進めた。また自主生産品の作成では、前年度から引き続いてマスク生産を行い、リピーターも多く付いて品質の良さの好評を各所からいただいている。当年度は自主生産品第二弾として自然食品を原料（玄米、炒りぬか、塩）とした「温(あ)ったカイロ」を新たに作成。数少ない販売会等の機会を有効活用して宣伝活動を行い、こちらも好評をいただいている。新規作業導入に新しい自主生産品への取り組みなど、当年度も「新しい挑戦」を意識して取り組むことができた。

佐倉市から指定管理を受託して13年が経過した。前年度に引き続きコロナ禍の影響を多大に受ける年となり制限は多くあったが、毎月の食事会や季節行事の実施、家族会、地区社協との連携等ができる範囲のことを行った。

○数値目標（稼働率／工賃） 稼働目標：83% → 実績：74.9%

入所施設から利用されている方が7名おり入所施設関係者のコロナ感染発症等により利用不可とせざるを得ない期間が多く発生し稼働率低下に繋がった。また前年度同様にコロナ不安により長期欠席をされる方もおり稼働率を回復していくことは難しかった。

工賃目標：15,000円 → 実績：13,088円

コロナ禍が続いており航空機関連(ヘッドホン)の受注再開はなかった。新たな受注作業(パネル洗浄)では材料自体が入ってこず、作業方法の簡素化や効率化の確立などが思ったように進まず安定した収入には繋がっていない。既存の受注作業を円滑に回して安定した作業供給を行い、布マスクに続いて新たな自主生産品を作成、販売することで大幅な減収は抑えられているが維持、増収までには至らなかった。

○戦略目標

・「稼働率90%を目指し、対象利用者層を広げる」

特別支援学校や千葉盲学校の実習生受け入れを通して、生活介護寄りの生徒や全盲の生徒などと深く関わりを持つことで職員の対応スキル向上に努めた。受け入れの幅も広がり、年度内に登録者数は36名から40名となり次年度以降の稼働回復の体制構築を行うことができた。

・「地区社協、町内会の方々と交流を続ける」

コロナ禍が続いているため、地元自治会行事は全て中止となり交流を行う機会は得られなかった。自主生産のマスクが敬老会の贈答品として配布され自治会広報にも紹介文等を掲載していただけたことで個別の発注や実際に足を運んでいただいたの注文に繋がることがあった。貸し館業務は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置適用期間外で健康体操グループへの定期貸し出しを実施。

・「施設内環境の整備」

施設内環境整備は修繕依頼を佐倉市へ繰り返し出しているが予算化には至っていない。指定管理での動きの制約はあるが、利用者に実害、不利益が生じることがないように根気強く対応を進めていきたい。

・「高齢事業所との連携」

高齢事業所を併用利用されている方については、日頃からの連絡・連携を意識して情報共有を図り、定期的なモニタリングを実施することで円滑なサービス提供実施が行えて70歳を間近に控える現在も双方に楽しく通われている。他にも60歳以上の利用者が数名在籍しており、急ぎ高齢サービスの利用を検討する方々ではないが、必要になった際にスムーズに繋げていける体制作り構築を目指したい。

・「災害時の事業継続」

新規の事業継続計画書が2月に出来上がり、3月に委託業者から管理者へ内容の説明が実施された。各職員への周知と訓練は次年度に実施となる。

○その他

・第三者委員による懇談会 コロナ禍継続のため未実施。

(所長 戸室 輝大)

## 1 施設利用状況

### 1-1 利用状況

(2021. 4. 1～2022. 3. 31)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10360	9795	7764	30.0	74.9	4	0

### 1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	4	0	1	0	1	0	0	2
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

### 1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	26	13	39
印西市	1		1

## 2 利用者の状況

### 2-1 年齢構成 (2021. 4. 1 現在)

	総数	19～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	36	2	1	7	26	45.1	69	19
%	100	5.6	2.8	19.4	72.2			
男	23	2	0	6	14	43.7	68	19
女	13	0	1	1	12	47.7	69	30

### 2-2 療育手帳による障害程度

(2021. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	36	5	2	18	6	5
%	100	13.9	5.6	50.0	16.7	13.9
男	23	4	2	9	5	3
女	13	1	0	9	1	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

(2021. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	36	2	1	0	0	0	0	33
%	100	5.6	2.8	0	0	0	0	91.6
男	23	1	0	0	0	0	0	22
女	13	1	1	0	0	0	0	11

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

(2021. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	36	1	1	0	34
%	100	2.8	2.8	0	94.4
男	23	0	1	0	22
女	13	1	0	0	12

2-5 就学状況（最終学歴）

(2021. 4. 1 現在)

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲	その他	不就学
総数	36	6	1	5	21	1	2	0
%	100	16.7	2.8	13.9	58.3	2.8	5.5	0
男	23	3	1	3	15	1	0	0
女	13	3	0	2	6	0	2	0

2-6 就労経験

(2021. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	36	15	21
%	100	41.7	58.3
男	23	9	14
女	13	6	7

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

(2021. 4. 1 現在)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	36	0	1	0	35
%	100	0	2.8	0	97.2
男	23	0	1	0	22
女	13	0	0	0	13

#### 3-2 障害の状況（総括）

(2021. 4. 1 現在)

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	36	1	2	0	0	0	34	3	0
%	100	2.7	5.5	0	0	0	94.4	8.3	0
男	23	1	1	0	0	0	22	1	0
女	13	0	1	0	0	0	12	2	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### 4 援助サービスの実施状況

<p><b>作 業</b></p>	<p>○タオル縫製（汚れ拭き上げ用品）          ・使用済みのバスタオルを二枚の拭き上げ用タオルに作り替える作業</p> <p>○ウエス作製          ・洋服やシャツなどを指定された大きさにカットする作業</p> <p>○腰壁材梱包（家の壁紙の分かれ目を隠すもの）          ・木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業</p> <p>○枠のフィルム剥がし（CD、DVDラベルを印刷した原版）          ・シルク印刷の原版清掃する作業</p> <p>○足場インサート（建築物の基礎に埋め込む資材）          ・金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業</p> <p>○パネル洗浄          ・建築現場で使用する養生パネルの洗浄作業</p> <p>○検査キット封入（健康診断で使用する検尿容器）          ・健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業</p> <p>○商品作成、封入、梱包、出荷作業          ・商品の組立て等、商品・用紙の封入、梱包、出荷（バーコード貼付）</p> <p>○自主生産活動（ミシン作業、マスク付属品作成）          ・布マスク作成、マスクストラップ作成、小物家具等作成</p> <p>○ヘッドホン結束（ヘッドホンリサイクル） ※現在休止中          ・国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業</p>
<p><b>自治会活動</b></p>	<p>「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足          会長…1名 副会長…1名 書記…1名</p> <p>○給与規定について          ・給与規定の内容確認および承認</p> <p>○期末ボーナスについて          ・ボーナスの支給方法および承認</p> <p>○環境整備について          ・掃除分担の作成</p> <p>○行事計画について          ・行事計画の内容確認および承認</p> <p>○その他          ・利用者間の決まり事の確認および周知の場</p>
<p><b>送 迎</b></p>	<p>○4 経路運行</p> <p>①よもぎの園～ユウカリヶ丘～染井野方面～よもぎの園</p> <p>②よもぎの園～法人本部～よもぎの園</p> <p>③よもぎの園～大蛇方面～よもぎの園</p> <p>④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園</p> <p>○利用者からの直接利用料の徴収はなし</p>
<p><b>宅配弁当の仲介</b></p>	<p>○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ）          ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文</p>

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2021.4.1 現員数	2021.4.1~2022.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	13(7)					14(8)
管理者	1		1	1		1
主任(サービス管理責任者)	1					1
生活支援員	6(6)					6(6)
作業指導員	3		2	1		3
目標達成指導員	1					1
運転手	1(1)	1(1)				2(2)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

### 5-2 職員研修の状況

施設内					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
8/4	試算表について(日本経営)	2			
1/21	財務研修	2			
施設外					
9/29	障害者施設のリスクマネジメントセミナー(BCP)	1	3/15	サービス管理責任者更新研修	1
12/6	福祉サービス苦情解決研修【基礎編】	1			
2/8	福祉サービス苦情解決研修【応用編】	1			
2/14	サービス管理責任者更新研修	1			

※コロナ禍のため上記研修は全てWEB研修。  
 ※職員会議を利用し、サポーターズカレッジの動画研修を定期的実施した。

### 5-3 行事实施状況

月日	行事内容
4/28	春陽会
5/31	食事会
6/28	食事会
7/29	食事会
9/30	食事会
11/30	食事会
12/28	忘年会
1/26	新年会
2/21	食事会
3/24	会食会
備考	

## ワークショップかぶらぎ

## フレックスワークコース／ライフステップコース

（就労継続支援B型）

（自立訓練（生活訓練））

## 概況

当年度のスローガンは「地域で『働く』・『生活<sup>いき</sup>する』を支える」であった。

## 中期経営計画

## (1) 数値目標

## 【稼働率】

フレックスワークコース（就労継続支援B型）目標稼働率 下半期平均 110%⇒実績 104.6%

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練））目標稼働率 95%⇒実績 88.8%

## (2) 戦略目標

## ○収益の増加

稼働率については、B型については下半期平均 110%の稼働を目指していた。利用者の体調変化や生活環境の変化等で目標の達成はできなかった。しかし過去数年間の稼働の変化を比較すると安定しているため、より地域のニーズに答えるために次年度、就労継続支援B型については定員を14名→18名に増加することとした。生活訓練については、有期限であることから稼働管理は難しいものの定期的に新規利用者を獲得でき、稼働は目標数値を達成することはできなかったが年間平均 88.8%であった。

## ○職員配置の適正化

異動・出向等で法人の定めた人員配置にて運営した。

## ○職員の対応力向上

事業所として必要としている内容の研修があまり無かったため受講件数が少なかった。

総合相談センターとの合同事例検討会については4回実施、うち1回はスーパーバイザーの参加があった。事例を深掘することで、事業所だけではない利用者の課題に目を向けることが出来るようになった。

## ○作業売り上げの増加

時間数は少ないが、法人内の仕事発掘として、はちす苑内の清掃を開始できた。利用者のモチベーションも高く、ニーズもあるため時間数を増加することができるように体制を組んでいきたい。

外部の受注作業も増やすことができ、コロナ禍でも仕事が無い状況を回避し、前年度の平均工賃を上回ることができた。

## ○新規利用者確保、利用者満足度向上

満足度調査ではなく、プログラム希望調査に変更し、プログラムの内容を見直す機会とした。アンケートを実施し、結果は3月のかぶらぎミーティングにて利用者へ公表した。次年度はこの結果をもとに改善に取り組みたい。

## ○地域とのつながり作り

コロナ禍のためカフェの一般開放はできなかった。

城の辺地区社会福祉協議会の買い物支援への車両貸し出しについては、地区社協がコロナ禍で中止した期間以外は定期的に貸し出しを行った。またその繋がりから印刷等の作業依頼にも繋がっている。

## ○災害時の事業継続

新規の事業継続計画書が2月に出来上がり、3月に委託業者から管理者へ内容の説明が実施された。各職員への周知と訓練は次年度に実施となる。

## 【その他】

○第三者委員による懇談会 1月21日実施

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況 (2021. 4. 1～2022. 3. 31)

1-1 利用状況

①就労継続支援B型

【定員14名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3780	7853	3953	14.6	104.6%	3	4

②自立訓練(生活訓練)

【定員6名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1620	5310	1438	5.3	88.8%	13	11

1-2 入・退所状況

①就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	3	0	0	0	3	0	0	0
退所者と退所事由	4	0	0	0	3	0	1	0

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	13	1	0	9	3	0	0	0
退所者と退所事由	11	0	0	4	7	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

①就労継続支援B型

出身地	男	女	計			
佐倉市	13	10	23			
四街道市	0	0	0			
富里市	0	0	0			
酒々井町	2	0	2			
成田市	0	3	3	男	女	合計
八街市	0	0	0	15	13	28

②自立訓練(生活訓練)

出身地	男	女	合計
佐倉市	6	10	16
四街道市	0	0	0
富里市	1	0	1
印西市	1	0	1
八街市	0	1	1
酒々井市	0	1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成(2021. 4. 1現在)

①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	28	0	0	6	11	9	2	46.8	77	32
%	100	0	0	21.5	39.3	32.1	7.1			
男	15	0	0	1	7	5	2	49.6	77	35
女	13	0	0	5	4	4	0	44.1	56	32

②自立訓練(生活訓練)

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	20	0	1	8	4	7	43.8	70	28
%	100	0	5.0	40.0	20.0	35.0			
男	8	0	1	3	2	2	44.3	70	28
女	12	0	0	5	2	5	43.5	61	30

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	28	0	12	3	13
%	100	0.0	42.9	10.7	46.4
男	15	0	9	2	4
女	13	0	3	1	9

②自立訓練(生活訓練)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	20	3	12	0	5
%	100	15.0	60.0	0.0	25.0
男	8	1	5	0	2
女	12	2	7	0	3

## 2-3 就労経験

### ①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	28	23	5
%	100	82.1	17.9
男	15	13	2
女	13	10	3

### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	20	19	1
%	100	95.0	5.0
男	8	7	1
女	12	12	0

## 3 利用者の障害の状況

### 3-1 視覚障害

#### ①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	28	0	0	0	28
%	100	0	0	0	100
男	15	0	0	0	15
女	13	0	0	0	13

#### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	20	0	0	0	20
%	100	0	0	0	100
男	8	0	0	0	8
女	12	0	0	0	12

### 3-2 知的障害

#### ①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	28	0	0	0	3	3	25
%	100	0	0	0	10.7	10.7	89.3
男	15	0	0	0	2	2	13
女	13	0	0	0	1	1	12

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	20	0	0	0	6	6	14
%	100	0	0	0	30.0	30.0	70.0
男	8	0	0	0	1	1	7
女	12	0	0	0	5	5	7

4 援助サービスの実施状況

<b>作業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回）</li> <li>○セットアップ部                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールシート折り</li> <li>・印刷物の丁合、封入</li> <li>・切手計数、貼付け</li> </ul> </li> <li>○クリーン&amp;メンテナンス部                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内清掃</li> </ul> </li> <li>○総務部                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・納品請求書の発行</li> <li>・フェイスブック管理</li> </ul> </li> <li>○プリント部                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺作成</li> <li>・封筒作成</li> <li>・各種シール作成</li> <li>・各種チケット作成</li> <li>・イベントのぼり作成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジボルトの組み立て、計数</li> <li>・紙製箱等の検品、組み入れ</li> <li>・館内環境の美化、整備</li> <li>・時給換算表の入力</li> <li>・共同受注サイトチェック</li> <li>・ポスターチラシ作成</li> <li>・イベントプログラム作成</li> <li>・冊子、報告書、議案書の作成</li> <li>・イベント横断幕作成</li> </ul>
<b>プログラム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疾病管理とリハビリ【IMR】（月2回）</li> <li>○ライフステップミーティング（月1回）</li> <li>○茶話会（月2回）</li> <li>○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催）</li> <li>○調理会（月1回）</li> <li>○パソコン</li> <li>○ビジネスマナー</li> </ul>	
<b>カフェ活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティング（月2回）</li> <li>○飲食メニューの提供、考案</li> <li>○カフェ環境整備、月末事務</li> </ul>	
<b>送迎</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「JR佐倉駅、京成佐倉駅、京成酒々井駅、和田方面」、「京成志津駅、京成臼井駅」の2路線で送迎。</li> <li>○時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。</li> </ul>	

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2021.4.1			2021.4.2~2022.3.30				2022.3.31		
	継続	異動入	採用	退職	異動出	異動入	採用	退職	異動出	継続
総数	8 (1)				4 (1)	2 (1)				8 (1)
管理者	1 兼									1 兼
主任	1 兼				1	1				1 兼
生活支援員	5 (1)				3 (1)	1 (1)				5 (1)
職業指導員	1									1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

### 5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
6/18	合同事例検討会		8/20	合同事例検討会	
10/15	合同事例検討会		10/28	コンプライアンス研修	1
12/1	労務管理研修	1	12/17	合同事例検討会	
1/21	財務研修	2			
施設外					
7/13	ひきこもりに関する講演会	1	8/14~15	防火管理者研修	1
9/6、17、21	相談支援従事者初任者研修	1	12/9、13	相談支援従事者初任者研修	1
1/26	千葉県子ども食堂ネットワーク会議	1	3/11	こころの元気活用セミナー	1

### 5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実習対象資格等	人数
7/28~8/20	江戸川学園おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
8/23~25	〃	〃	1
2/10~2/22	〃	〃	1
3/15~3/31	大原医療秘書福祉保育専門学校	〃	1

5-4 行事实施状況 (2021. 4. 1~2022. 3. 31)

月 日	行 事 内 容
7月30日	新型コロナウイルスワクチン接種 (1回目)
8月3日	"
8月20日	新型コロナウイルスワクチン接種 (2回目)
8月24日	"
10月15日	避難訓練
11月18日	千葉県指導監査
1月21日	第三者委員相談会
3月4日	新型コロナウイルスワクチン接種 (3回目)
3月18日	避難訓練

## 概況

当年度のスローガンは「利用者の変化に気づき、生活を共に考える」であった。

## 中期経営計画

## (1) 数値目標

稼働率 目標 100%⇒実績 98.8%

## (2) 戦略目標

## ○事業の展開

「職員体制の構築」について、必要な支援や時間帯についての精査を行い、1月よりワークショップかぶらぎの職員が支援に入る体制を作った。まずは利用者と職員の関係を構築することを重視し、その後に再度支援内容や課題の見直しを図りたい。

「事業展開に向けた計画策定検討会」については、圏域の事業展開と併せて検討する必要がある、主となるよもぎの園の今後の見通しをつけることを優先課題としたため、実行できていない。

「地域の社会資源としての202号室の活用」について、年度後半にワークショップかぶらぎの利用者で利用検討をしたが、その方の障害支援区分の認定が整ったため、他の障害福祉サービスを利用する方向となり活用に至らなかった。

## ○高齢化に対応できる職員育成

「教育体制の確立 正職員の世話人会議への参加」については、ワークショップかぶらぎの職員が参加した。身体面の清潔や皮膚科の必要性等、その職員の経験から良い方向に向けることが出来た。

「学習機会の創出 研修参加、勉強会」については、回数は少ないが実施できた。知的障害について、自閉症について、虐待について等、世話人会議という短い時間ではあったが勉強会を行った。研修についてはコロナ禍の影響でオンライン研修になっており、インターネットの環境が整っていない事業所であるため参加が難しかった。（1回はワークショップかぶらぎにて受講している）

## ○つなぎ先の確保

「情報交換体制の確立」については、同じような内容であったため、主催せずアシストが行った共生型連携連絡会に参加した。次年度については、共生型連携委員会として位置付けられたため、引き続き委員会への参加から連携体制構築を図りたい。

「日中活動の場との連携」については、利用者に変化があった際は、通所先であるよもぎの園、あらた佐倉（就労継続支援A型事業所）と情報交換を行うことができた。

## ○災害時の事業継続

新規の事業継続計画書が2月に出来上がり、3月に委託業者から管理者へ内容の説明が実施された。各職員への周知と訓練は次年度に実施となる。

## 【その他】

○第三者委員による懇談会 1月21日実施

（所長 近藤 美貴）

1 利用状況（2021. 4. 1～2022. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員4名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1460	1460	1439	3.8	98.6	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	2	4

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2021. 4. 1現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	2	1	52.0	63	42
%	100	0	25.0	50.0	50.0			
男	2	0	0	1	1	57.5	63	52
女	2	0	1	1	0	46.5	51	42

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	4	0	1	0	3
%	100	0	25.0	0	75.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	1	0	1

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	1	1	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0
男	2	0	0	0	1	1
女	2	0	0	1	0	1

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	0	0	0	2

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	1	0	2	0	0	1	0
%	100	25.0	0	50.0	0	0	25.0	0
男	2	0	0	2	0	0	0	0
女	2	1	0	0	0	0	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	3	1
%	100	75.0	25.0
男	2	2	0
女	2	1	1

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	0	0	2

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	1	1	2	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0	50.0
男	2	0	0	0	1	0	1
女	2	0	0	1	0	1	1

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0
%	100	0	0	0	0	0	50.0	50.0	0	0
男	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
女	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

## 4 援助サービスの実施状況

<b>食事提供</b>	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
<b>体調管理</b>	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2021.4.1 現員数			2021.4.2~2022.3.30				2022.3.31 現員数		
	継続	異動入	採用	退職	異動入	異動出	採用	退職	異動出	継続
総数	4(2)									4(2)
管理者	1兼									1兼
サービス管理 責任者	1兼									1兼
世話人	2(2)									2(2)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
8/18	自閉スペクトラム症、知的障害について	4	1/19	虐待防止について	4
施設外					
11/2	印旛グループホーム連絡協議会世話人会(ZOOM)	3	11/19	佐倉市グループホーム等事業所連絡会	2

5-3 行事实施状況 (2021. 4. 1~2022. 3. 31)

月	行事内容
5月15日	調理会
9月12日	〃
11月24日	避難訓練
11月25日	大掃除
12月24日	クリスマス会
1月21日	第三者委員懇談会
3月4日	新型コロナウイルスワクチン3回目接種
3月25日	避難訓練
誕生日祝	入居者誕生日毎に実施(食事会)

## V. 高齡者福祉事業部



## 高齢者福祉事業部

## はちす苑

## 概況

当年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、感染症対策・予防に追われる年度であった。しかし、新型コロナウイルスの特徴など把握することで、極端な自粛は行わず「WITH コロナ」でできることを考え、工夫することで「楽しみ・レクリエーション」の提供に努力した。入居者・利用者だけでなく、職員もプライベートを含めて自粛に近い生活を送ってもらう形となってしまう、ストレスなど大きな負担がのしかかった。このような状況においても、施設内に新型コロナウイルスなど感染症が広がらなかった（クラスターが起きなかった）のは、職員の仕事に対する責任感の強さと感染症対策をはじめとした日々の努力によるものである。

人員体制においては、年度途中での常勤職員の怪我や休職などで、勤務体制は厳しい状況であったが、特養・ショートステイにおいては、派遣職員を採用することで補うことができた。

年度途中からコンサルによる業務改善プログラムが始まった。機能別採算による日々の売り上げ、労働時間の管理を中心に、収支に対する意識強化を図った。

【数値目標】 参考 当年度の介護保険（障害含）収入 433,279,439円（昨年度 433,076,156円）

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率	} 合算 97%	97.4%	} 合算 96.1%
	月平均 収入		2,550万円	
配食サービス	月平均収入	23万円	22.6万円	
	食数換算	274食	229食	
デイサービス	稼働率	74%	71.7%	
	1日平均利用者数	27人	25.0人	
	月平均 収入	620万/月平均	630万円	
ホームヘルプ	月平均契約者数	60件	58.9件	
	月平均 収入	200万円	(訪問型月平均 7.7万円) 166万円	
ケアプラン	月平均実績件数 (予防プラン含む)	135件	136件	
	月平均 収入	180万円	200.5万円	

## ●全体

## ○生産性向上による業務改善

ICT化・Wi-Fi導入については、法人プロジェクトチームと1年以上検討してきたが、費用面、導入した効果について不明確な点が多いため見送ることにした。業務見直しと業務改善を実施しながら、どの業務を機械化したら効率が上がるのか、タブレットの活用についても（音声が良いのか 入力が良いのか）、見極めが必要である。介護記録ソフトも更新したばかりであり、まずは「機能を使いこなすこと」に力を入れたい。

## ●特別養護老ホーム 短期入所生活介護（介護予防） 共生型短期入所

## ○安定した経営基盤の構築

入院日数が前年度より増えた形（504日）であるが、年度をまたいだ長期入院者、また、入院していた病院で新型コロナウイルスに感染し退院できなかった方が含まれており、実際は約430日であった。平均介護度は3.9 入居者の心身状況に合わせて、区分変更の申請を随時行った。LIFEについては、褥瘡マネジメント加算・科学的介護推進体制加算Ⅰを算定した。

年度後半、ご逝去される方が相次いだため、長期ショートステイ利用者の受入れが円滑に進めることができなかったため、ショートステイの稼働が例年より2~3%程度下がった。そのため合算稼働率は、目標を達成できなかった。

共生型短期入所については、利用日数は大幅に増えていないが、双子の兄弟をリホープとはちす苑で受け入れるなど、新たな形での受け入れ幅が広がりつつある。

## ○労働時間の改善

残業については、時間外の申請を事前に行うことを徹底することで、職員が時間内に業務を終えるよう、意識して業務遂行するようになったことは大きい。

## ○計画的な人材育成

運営基準に応じた研修以外に、看取りケア・認知症関係・口腔ケアなど、オンラインを中心とした研修を実施した。数字力・マネジメント力強化に関しては、機能別採算制度導入により実施中で、経費への意識を強化も含め実施していく。中期経営改革の年度で引き続き実施していく。

## ○サービスの質の向上 理念の継承

基本ケアの徹底、嚥下検査などを行うことで、誤嚥性肺炎、尿路感染症などが要因となる入院が減ってきている。代わりに、腸閉塞による嘔吐からの肺炎など、排便にかかわる受診・入院者がいた。医療依存度の高い方も増えているので、関連職種との連携はさらに必須となる。

はちす苑 8 つの誓い・基本ケアルールブックの実行と浸透については、まだ不十分であるので委員を中心に強化を図っていく。特に、生きがい支援（生活への楽しみ 役割支援）への取り組みへの強化は必須である。週 1 回のカラオケやオンラインを活用したレクリエーション体操を実施、年度末には外出も行った。

看取りケアは、13 名実施した。（ショートステイ 2 名含）ご本人だけでなく、看取りケアに直面するご家族の気持ちに寄り添いながれら、できる限り早い段階で身体状況（老衰など）について説明した。職員は「住み慣れた場所で日常生活を送ることの大切さ ご本人の要望を引き出すこと」に努力した。年度末に、ご本人希望で開催した「お食事会」は、まさにその一例である。

リスクマネジメントについては、大きな効果がみられている。特に、転倒しても怪我（大怪我）につながっていない事例が多くなっている。当年度の骨折件数は 5 件であり、大腿部関連の骨折は 1 件であった。転倒・転落の数は多いが、打撲や切り傷程度（施設内治療）で済んでいるのは、転倒しやすい方への対応を標準化したこと、ヨガマット・ラクッションパンツ・ベッド周りの環境設定が、実を結んでいる。ただし、事故の要因となっているのが「KY 不足」がほとんどであり、危険察知をどれだけできるか、KYT（危険予知トレーニング）が、リスクマネジメントの大きな鍵となる。服薬については、人間違いの重大な服薬事故はなかった。

## ○その他

共生型サービス事業の整備推進事業（1,029 千円）は、超低床ベッド（3 台）とエアマット（2 台）購入している。既存の特別養護老人ホームにおける多床室のプライバシー保護のための改修支援事業（特別養護老人ホーム及び併設されるショートステイ用居室 723 千円×整備床数）は、設計上の関係から実施が難しくなり辞退した。

## ●通所介護・通所介護相当サービス・共生型生活介護

### ○安定した経営基盤の構築

年度途中で主任と相談員が交代となり、組織の立て直しなど慌ただしい中での運営となったが、職員が一体となって主任を中心に取り組んだ結果、年間の目標稼働率は達成できなかったものの、病院の通院などで休んだ利用者へ振替の提案をするなど、地道な努力が功を奏し、年度末後半の平均稼働率は 72.8%まで回復している。共生型生活介護についても、年々利用者数と収入が増えている。共生型サービス事業の整備推進事業（1,029 千円）は、トイレ改修 4 か所（前のめり予防手すり・ウォシュレット設置）を実施した。

LIFE 関係は、ADL 維持等加算を算定した。科学的介護推進体制加算は、入力まで手が回らない状況であったため、次年度トライしたい。

### ○人材育成 営業力強化

業務改善は、課長・主任を中心に行っており、勤務表や役割分担表を精査し適正に業務分担をすることで、月平均 20 時間未満は、早い段階で達成している。営業については、相談員が定期的実施しており、営業後の利用依頼については「断らない」姿勢を一貫して行うことで、後半の稼働上昇の大きな要因となっている。Twitter などの SNS は話題があれば都度更新し、広報誌も定期的に発行している。

主任を始めとした、職員の収支や数字力への意識強化は、機能別採算制度を活用することで実施している。次年度は、経費への意識を強化していく。

### ○高齢者・共生型サービスの共存と展開、サービスの質の向上

オンラインを活用した無料レクを取り入れるなど、外部サービスを定期的に取り入れる工夫はしていたが、既存のサービス概念からなかなか抜け出せない状況にある。利用者アンケートの活用や利用者の声をサービスにつなげる発想の転換など、活動内容（レクリエーション）の見直し、新たなサービス（介護保険外サービス）の開発が必須である。

総合事業（通所型B 住民参加型デイサービス）への積極的なかわりも継続し、新たな顧客獲得につなげたい。

●訪問介護・訪問介護相当サービス

○登録ヘルパーの増員

登録ヘルパーの退職者が当年度もあり、現在、稼働している常勤以外のヘルパーは7名（緩和型含）である。サービス面など外部の介護支援専門員や利用者からの評価は高いものの、職員（登録ヘルパー）の数が増えないため、年々厳しい状況となっている。介護の仕事相談会は、昨年度3回実施し10名参加したが、登録ヘルパー希望者はいなかった。地域包括ケアにおいて、訪問介護はなくてはならない事業であり、登録ヘルパーの採用戦略に関して、中期経営計画の重要事項に位置付け、実行しなければならない。その意味ではヘルパー関連事業所の集まり「ヘルパーの和さくら」の活動再開と地区社協や地域福祉センターとの、採用に関する入り口戦略強化は必須である。

○その他

研修については、新型コロナウイルス感染症の関係で、オンライン中心であったが可能な限り計画に基づき実施した。

●居宅介護支援事業所

年度途中で1名退職したが、戦略目標や実績・収入など当年度の目標は、概ね達成した。

○人材育成

新型コロナウイルス感染症の関係で、地域関連事業がなかなか進まない形であったが、感染状況に合わせて「介護者のつどい」や「通所型B事業のフォロー」を行った。担当件数・実績・残業など、数値に対する意識は高くなってきた。

○障害（共生型）サービスへの対応強化、障害関係の知識強化

主任介護支援専門員が3名体制となったことを最大限に活用し、新たな事業展開、また、障害関係の知識強化は継続しながら、介護離職やヤングケアラーなどの社会問題にも対応できるよう、個々のキャリアアップ・能力向上は必要である。タブレットなどを活用した、業務削減（生産性向上）についても、今後の課題である。

（苑長 麻生 知明）

1 事業の実績(2020.4.1～2021.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員 54名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				入退所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	19,710	19,710	19,213	52.6	97.4%	504		504		14	14
(前年)	19,710	19,710	19,323	52.9	98.0%	433	10	422	1	7	7

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

※ 入院日と退院日は含めていない。

1-2 ショートステイはちす苑(短期入所生活介護事業)

【定員 20名】

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,300	6,758	18.5	92.5%
(前年)	7,300	7,045	19.3	96.5%

1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	27,010	25,971	71.1	96.1%
(前年)	27,010	26,368	72.2	97.6%

1-3 デイサービスはちす苑 (通所介護事業 基準該当生活介護事業)

【定員 35名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		利用登録者 (共生含)	共生型生活介護
	営業日	定員	総数	利用数	稼働率		延べ利用人数 1,290
(当年)	309	10,815	7,755	25.0	71.7	1,046	
(前年)	308	10,780	7,542	24.4	69.9	915	

1-4 ホームヘルプサービスはちす苑 (訪問介護事業)

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	5,854	2,330	1,505.5	1,677	1,336	(独自) 1,462	(独自) 1,459	6	3.75	709	4673.25
(前年)	6,926	2,826	1,598.5	2,272	1854.5	(緩和) 369	(緩和) 369	31	9.75	700	5238.75
						(独自) 1,415	(独自) 1,394.5				
						(緩和) 382	(緩和) 381.5				

1-5 ケアプランはちす苑 (居宅介護支援事業)

月	月末契約数	実績	
		要支援	要介護
4月	152	31	100
5月	144	34	104
6月	152	33	104
7月	145	33	105
8月	148	34	107
9月	150	36	107
10月	143	35	107
11月	143	35	107
12月	130	26	103
1月	132	30	94
2月	133	32	94
3月	135	33	95

## 2 入居者・利用者の状況（2021年度全契約者）

### 2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	402	146	256	68	19	49	334	127	207
%		36.3	63.7	16.9	4.7	12.2	83.1	31.6	51.5

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン（居宅介護支援）・ショートステイ（短期入所）  
・デイサービス（通所介護）・ホームヘルプ（訪問介護）]を指す。

### 2-2 年齢構成

（年齢は2021.4.1現在）

		総数	65未満	65～69	70～79	80～89	90以上	最高齢
全利用者	総数	402	16	16	88	176	106	
	%		4.0	4.0	21.9	43.8	26.3	
	男女	146 256	8 8	10 6	38 50	64 112	26 80	94歳 102歳
特養ホーム 入居者	人数	68	1	1	12	30	24	
	%	16.9	0.2	0.2	3.0	7.5	6.0	
	男女	19 49	1 1	1 1	8 4	7 23	2 22	91歳 102歳
居宅 サービス 利用者	人数	334	15	15	76	146	82	
	%	83.1	3.7	3.7	19.0	36.3	20.4	
	男女	127 207	7 8	9 6	30 46	57 89	24 58	94歳 102歳

### 2-3 居住地域

		総数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	402	323	64	1		14
	%		80.3	16.0	0.2		3.5
	男女	146 256	115 208	28 36	1		3 11
特養ホーム 入居者	人数	68	55	7	1		5
	%	16.9	13.8	1.7	0.2		1.2
	男女	19 49	16 39	2 5	1		1 4
居宅 サービス 利用者	人数	334	268	57			9
	%	83.1	66.7	14.2			2.2
	男女	127 207	99 169	26 31			2 7

2-4 要介護認定の状況

		総数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	402		86	57	67	69	83	28	13
	%			21.4	14.2	16.6	17.1	20.6	6.9	3.2
	男女	146 256		27 59	27 30	25 44	21 48	29 51	11 17	6 7
特養ホーム 入居者	人数	68				1	24	33	10	
	%	16.9				0.2	6.0	8.2	2.5	
	男女	19 49					5 19	9 24	5 5	
居宅 サービス 利用者	人数	334		86	57	66	45	49	18	13
	%	83.1		21.4	14.2	16.5	11.2	12.2	4.4	3.2
	男女	127 207		27 59	27 30	24 42	16 29	21 28	6 12	6 7

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）オンライン含む

面会 回数 (年)	回数	50回以上	49~40回	39~30回	29~20回	19~10回	9~1回	なし
	人数						44	24
	%						64.7	35.3
外泊 日数 (年)	回数	20日以上	19~15日	14~10日	9~5日	4~1日	なし	
	人数						68	
	%						100	
	男女						19 34	9 15

2-6 特養新規入居者(2021年度中)

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	14		4	6	4			2	8	4
男	8		3	4	1			1	4	3
女	6		1	2	3			1	4	1
	総数	入居前状況								
		在宅	老健	病院	その他					
数	14	4	4	3	3					
男	8	3	2	2	1					
女	6	1	2	1	2					

2-7 特養退所者(2021 年度中)

	総数	退所時年齢					退所時要介護度					
		～64	65～	70～	80～	90～	1	2	3	4	5	
人数	14			1	6	7			2	7	5	
男	4			1	2	1			1	2	1	
女	10				4	6			1	5	4	
	総数	退所時理由										
		在宅	施設	入院	死去							
人数	14			3	11							
男	4			1	3							
女	10			2	8							

3 特養入居希望者(2022. 3. 31 現在)

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		～64	65～	70～	80～	90～	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	208	3	5	41	96	63		1	6	74	75	44	8
%		1.4	2.5	19.7	46.1	30.3		0.4	2.9	35.6	36.1	21.2	3.8
男	104	2	4	26	48	24		1	5	34	34	25	5
女	104	1	1	15	48	39			1	40	41	19	3
	総数	現状											
		在宅	老健	病院	他								
人数	208	14	45	46	103								
%		6.7	21.7	22.1	49.5								
男	104	2	19	28	55								
女	104	12	26	18	48								

## 4 運営管理

### 4-1 職員状況

職 名		2021. 4. 1	2021. 4. 2~2022. 3. 30				2022. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		90 (46)	7(7)	1	2(1)	12(12)	97(52)
苑長 (施設長)		1					1
総務課	(法人所属) 事務員	1					1
	事務員	1(1)					1(1)
	運転手	1(1)					1(1)
	クリーンスタッフ	7(7)	1(1)			2(2)	8(8)
	管理宿直者	3(3)					3(3)
	配食サービス配達員	5(5)					5(5)
施設サービス課	課長	1		1	1		1
	主任ケアスタッフ	3					3
	ケアスタッフ	29(8)	1(1)		1(1)	4(3)	33(11)
	生活相談員	1					1
	管理栄養士	1		1	1		1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー	2					2
	ケアマネジャー	2(1)	1(1)				1
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	11(8)				2(2)	13 (10)
	介護補助		1(1)			1(1)	
	生活相談員	1					1
	ボランティアコーディネーター	1 (1)					1(1)
	【ホームヘルプ】						
	居宅サービス課課長(サ提)	1					1
	主任ケアスタッフ (サ提)	1					1
	サービス提供責任者	1					1
訪問介護員	2					2	
登録ヘルパー	9 (9)	2(2)			1(1)	9 (9)	
健康管理室	医師	1(1)					1(1)
	主任看護師	1					1
	看護師	7 (3)	1(1)			2(2)	8 (4)
	機能訓練職						

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数( )内に再表示している。

4-2 職員研修・訓練など実施状況

法人研修		
日付	研修内容	参加人数
7/14	トランスファー研修 RX 青山	2
8/4	会計研修	1
8/27	面談研修	3
8/30	トランスファー研修 RX 青山	7
10/28	権利擁護研修	2
12/1	労務管理者研修	1

施設内研修		
日付	研修内容	参加人数
6/9	口腔ケア研修	22
7/5・6	TENA 研修	3
7/21	感染症対策研修	17
8/25	救急対応 夜間救急時研修	12
8/27	面談研修	4
9/3・6・7・14・28	感染症対策セミナー	6
9/29	褥瘡予防対策研修	12
9/6	リスクマネジメント研修	10
11/8	虐待予防・身体拘束廃止研修	10
11/10	口腔ケアの重要性	20
12/16	感染症対策研修	8
2/16	褥瘡に関する研修	7
2/18	看取りについて 講師 高口光子	7
3/2	看取りについて 講師 高口光子	9

外部研修		
日付	研修内容	参加人数
4/13	介護保険制度改正と介護報酬改定	1
4/30	千葉県 感染症リーダー研修	麻生
5/15	新型コロナウイルスによる医療と介護の連携について学ぶ	3
8/25	介護と医療の連携のありかたについて語り合しましょう	3
8/30 9/7	安全運転管理者講習会	麻生 日野
9/10	BCP 計画について(千葉県介護支援専門員協議会)	2
9/15	初めての役職者研修	梶 長井
9/21	新ケアプラン検証(ケアマネジャーを紡ぐ会)	1
9/27	ケアプラン作成に活かす意識と知識(日本在宅介護協会)	4
9/29	高齢者虐待防止研修(千葉県社会福祉協議会)	1
11/13	BCP と具体的な計画作成のポイント	2
12/15	佐倉市の医療と介護 在宅医療連携研修会	3
12/18	ケアマネジャーの視点と看取りケア(千葉県介護支援専門員協議会)	2
1/17	高齢者・障害者の人権擁護と虐待に関して事例と対応策	1
2/20	支援システム構築のためにケアマネがどうかかわっていくのか(ケアマネ協議会主催研修)	1
2/20	介護保険制度改正のためのセミナー(千葉県福祉ふれあいプラザ)	2
3/27	介護保険制度改正のためのセミナー(日本ケアマネ協会)	1

訓練など		
日付	内容	参加人数
7/7	防災訓練	出勤全職員
7/21	感染症対策訓練	17
9/8	防災訓練(夜間想定)	特養・宿直職員
12/8	防災訓練	出勤全職員
8/18	ガウンテクニック訓練	2
8/25	ガウンテクニック訓練	1
9/14	ガウンテクニック訓練	2
9/22	ガウンテクニック訓練	9
9/29	ガウンテクニック訓練	1
10/13	ガウンテクニック訓練	3
10/13	ガウンテクニック訓練	4
10/26	ガウンテクニック訓練	3
12/16	感染症対策訓練 ゾーニングについて	8

### 5 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
虐待防止・身体拘束廃止委員会	4	1			1		1				1		
感染症対策・リスクマネジメント委員会	4		1			1			1			1	
スキンケア委員会	3			1			1			1			
特養主任会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入居判定会議	4		1		1		1			1			1
デイサービス会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	6	1		1		1		1		1		1	
サービス担当者会議	63	5	6	6	6	5	5	6	5	6	5	4	4

### 6 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実習目的	日数	件数	人数
※総数		135	2	4
成田国際福祉専門学校	介護福祉士	73	5	10
大原医療保育福祉専門学校千葉校	介護福祉士	62	2	4

7 ボランティア活動

7-1 活動状況(年間実績)

活動内容			理 髪	施 設 環 境 備 置 備	清 拭 布 洗 濯 物 た た み	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴 朗 読 等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽 療 法	生 花 ・ 茶 道 ク ラ ブ	公 演 ・ 発 表	そ の 他
4月	延人数	20												20
	人数	2												2
	回数	20												20
5月	延人数	20												20
	人数	3												3
	回数	20												20
6月	延人数	21												21
	人数	2												2
	回数	21												21
7月	延人数	20												20
	人数	2												2
	回数	20												20
8月	延人数	21												21
	人数	2												2
	回数	21												21
9月	延人数													0
	人数													0
	回数													0
10月	延人数	20	2											18
	人数	3	1											2
	回数	20	2											18
11月	延人数	24	3											21
	人数	4	2											2
	回数	24	3											21
12月	延人数	22	3											19
	人数	4	2											2
	回数	22	3											19
1月	延人数													0
	人数													0
	回数													0
2月	延人数	22	2											20
	人数	3	1											2
	回数	22	2											20
3月	延人数	25	3											22
	人数	4	2											2
	回数	25	3											22
合計	延人数	215												
	人数	29												
	回数	215												

7-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備		
理美容	4	個人
清拭・洗濯たたみ		
生活補助		
傾聴		
陶芸クラブ		
音楽クラブ		
茶道クラブ		
囲碁・将棋		
歌・演奏		
生花クラブ		
車椅子清掃		
その他（誘導・散歩等）	3	個人（犬の散歩）

8 行事・活動等実施状況（2021. 4. 1～2022. 3. 31）

月	行事内容
5月 6日	入居者・職員 健康診断 20日内部監査 27日監事監査
7月 18日	特養・ショート入居者納涼祭（はちフェス）
9月 19日	敬老会
10月 21日	入居者・職員 健康診断
11月 16日	寿しキャラバン
12月 19日	特養・ショート入居者忘年会
R2 1月 1日	獅子舞
2月 28日	吉野家牛丼
新型コロナウイルスワクチン接種	
令和3年	
第1回目 2回目 4/28 5/12・19・26 6/2・16	
令和4年	
第3回目 1/25 2/1・8・15・22	
インフルエンザワクチン接種	
10/26 入居者 11/2・9 職員	
職員 PCR 定期検査	
○4月～9月まで月2回 PCR 検査実施（千葉県無料PCR検査事業）	
○10月～ 毎週1回 PCR 検査実施（日本財団無料PCR検査事業）	
特養・SS 毎週日曜日 お楽しみ活動実施（カラオケ 体操など）	

## VI. 地域福祉事業部



**2021(令和3)年度 事業報告**  
**地域福祉事業部**  
**南部児童センター・学童保育所**

**概況**

「地域子育て支援 ～地域づくりはこころの元気づくり～」とスローガンを掲げた児童センター・学童保育所は新型コロナウイルス感染予防の最善の対策を講じつつ、地域の子どもの健全育成を図る社会的使命を継続できるよう事業に取り組んできた。

政府からの緊急事態宣言発令や佐倉市から3回の「学童保育所登所自粛のお願い」についての文書発出があり、利用制限が余儀なくされた時期には子どものあそびや居場所の提供は「不要不急」なのかと複雑な思いも巡った。だが、どのような社会状況であっても子どもに寄り添い「必要不休」、欠かすことのできない開かれたところであるよう児童センター・学童保育所は対応してきた。

児童センターにおいては5月に遊具などを簡易な操作で効率よく殺菌できる殺菌庫を購入し、来館者にこれまでより多くの遊具の提供ができるようになった。また、12月には館内に光触媒による除菌脱臭機を設置し、日々の清掃や消毒・除菌に加えてさらに感染症予防策を講じた環境を利用者に提供できるようにした。

児童センターでの企画は、感染症対策のためこれまでの期間中止としていたが、安全に楽しくできる策を模索し、コロナ禍前の事業もやり方を変えることで復活させた。とくに、オリジナル噴水装置を製作しての水あそびや、来館者の「密」を避けるため1週間程度の期間を設定して実施したお誕生会、クリスマスイベントは来館者数の増加につながった。

学童保育所においても同様、「密」らないあそびの提供や生活の場をつくるため、既存のあそびのルールを工夫し、支援を行ってきた。そして、子どもたちから「密」にならない、触らないあそびなどの提案があった際には子どもの意見に耳を傾け、一緒に考え、子どもたちものとしていく建設的な取り組みを実施してきた。

感染症の発生状況により臨時休所とせざるを得ない学童保育所もあったが、二次感染を防ぐために必要な調査、措置が済み次第開所できるよう、また極力保護者の就労への影響が最小限にとどめられるように対処に当たった。

入場時間帯と入場可能な人数を制限した状態での開館で、休館となった日がなかった児童センターは、年間7,311名の入館となり、前年対比約197%の入館者であった。

児童センターおよび学童保育所の年間の活動にあたり、愛光後援会「愛の灯台基金」からすべての学童保育所にパーティション、児童センターには新たなクリスマスツリーの助成支援をいただき有用となった。

**○本年度数値目標**

子育てコンシェルジュによる子育て相談と並行し、日ごろからインストラクターが来館者と積極的な関わりをもち、話を聞くという原点に返っての取り組みを継続して行った。少数ではあったが「もしもしメール(相談窓口)」へ問い合わせもあった。相談件数：目標60件 ⇒ 実績100件

**○子育てのセンター的な役割**

児童センターは乳幼児期の子育ての拠り所として訪れる来館者が主であるが、南部圏域学童保育所の運営窓口でもあるため、就学時期の相談や保護者の気になることも耳にする機会が多くあった。児童センターの連携する関係機関として法人内アシストの存在が大きくなった。

**○「子どもの権利」についての啓発**

子ども主体の活動の構築として、小学生のボランティアクラブがSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みに基づき、廃材を利用し児童センターの「案内表示板」を製作した。

**○インストラクター・学童支援員の教育**

コロナ禍で研修の機会が少なくなっている状況を鑑み、保育、支援対応についての職員向け冊子をQ&A形式に記載し製本化した。また、来館者の少ない時間帯に配信によるWEB研修会を受講、学童保育所の開所前の時間を選択できる研修を受講するなどオンライン研修の活用を図った。

(所長 長岡 陽子)

1 サービスの利用状況(2021.4.1～2022.3.31)

1-1 佐倉市立南部児童センター

(1)施設利用状況

(人)

	開館日数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
年間利用数	297	3,103	945	469	40	2,754	7,311
一日平均		10.4	3.2	1.6	0.1	9.3	24.6

※ 開館時間・入場可能人数

- 4月～ 9:30～12:00 乳幼児親子 15名まで、14:00～17:00 小学生以上 15名まで  
 8月～ 9:30～12:00 乳幼児親子 7組程度、14:00～17:00 乳幼児・小学生以上 15名程度  
 11月～ 9:30～12:00 乳幼児親子 10組程度、14:00～17:00 乳幼児・小学生以上 20名程度  
 12月～ 9:00～12:00 乳幼児親子 10組程度、14:00～16:30 乳幼児・小学生以上 20名程度

(2)図書貸出状況

(人)

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	297	2,014	0	0
一日平均		0	0	0

※ 4月～ 閲覧のみ 開室スタート

(3)事業実施状況(延べ人数)

※新型コロナウイルス感染症状況により一部実施

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務			
	ひよこタイム	557	5,198	スキンシップあそび・わらべうたあそび・絵本読み聞かせ
	ゆりかごタイム	38	508	スキンシップあそび・身体測定・母親同士の交流・保健師・栄養士による相談
	ペンギンちゃんタイム	0	0	スキンシップあそび・わらべうたあそび
	うさぎちゃんタイム	0	0	2歳以上 月2回毎水曜日(8月を除く)
	くまちゃんクラス	0	0	2・3歳児親子遊び 第2 第4火曜日
	さくらんぼちゃんタイム	0	0	多胎児保護者、妊婦の交流、情報交換の場
	ひよこランド	0	0	くまちゃんクラスの参加親子によるお店屋さんごっこ
	ひよこスペシャル 水あそび	5	64	噴水での水あそび
	幼児親子あそび	0	0	講師による親子あそびの紹介と実践
	おはなし会	0	0	司書による絵本読み聞かせ・わらべうた遊び
	乳幼児遠足 (佐倉草ぶえの丘)	0	0	季節の自然に触れながら、母親同士の交流
	幼児親子バス遠足	0	0	季節の自然に触れながら、母親同士の交流(アンデルセン公園)
	幼稚園説明会	0	0	南部地区近隣幼稚園の職員を招いて説明会
おはなしキャラバン	0	0	人形劇、大型絵本、パネルシアター、絵本の鑑賞	
県民の日あそびのフェスティバル	0	0	色々なあそびを通して交流を深める。高齢者クラブと連携	

		あそびりんぴっく	0	0	スマイルクラブによるあそびのブース
	② 子育て相談業務	誕生会 & 大きくなったかな子 おめでとうウィーク	23	25	お誕生児に手形・缶バッジプレゼント・身体測定
		子育てコンシェルジュ	4	13	子育てコンシェルジュを招いて、子育ての個別相談・支援業務
	③ 子育てサークル等の支援業務	子育てサロン (はっぴいランチ)	0	0	昼食を摂りながら、母親同士の交流を深めリフレッシュする場
遊びを通しての体力増進指導業務		幼児体操教室	0	0	講師による親子運動あそびの実践
		小学生体操教室	0	0	ゲームあそびを通して体力作り。跳び箱、ボール等を使った運動あそび
児童の健全育成に関する業務	① 行事活動業務	県民の日あそびのフェスティバル	0	0	高齢者クラブと連携。工作、魚釣りゲームなどのブース
		水風船大会 水遊び	2	10	噴水を使った水あそび大会
		おぼけやしき	0	0	スマイルクラブが企画・運営。地域との交流
		愛光秋まつり	0	0	障害者、高齢者との交流
		あそびリンピック	0	0	スマイルクラブによるあそびのブースを展開
		放課後Xデー フロアカーリング大会	2	14	集団あそびをととして、異年齢の交流を図る。ドッジボール、スポーツ鬼ごっこ等
		工作タイム スノードーム作り	1	6	季節の工作、手作りおもちゃなどの持ち帰り
		こわいおはなし会 & ミニ工作	0	0	司書による怖い絵本の読み聞かせ、素話。スライム作り
	② 小学生を対象とする活動業務	夏のおはなし会	0	0	
		将棋クラブ まつぼっくりツリー作り	1	10	活動を通してクリスマスの雰囲気を楽しむ
		卓球大会	0	0	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る
		生け花教室	0	0	伝統文化の体験
		小学生バス遠足	0	0	他校、他学年との交流(科学技術館)
		臨時開館	0	0	中学生の居場所づくり(かき氷の配布)
	③ 中高生を対象とする活動業務	中高生バスケ大会	0	0	参加者希望による3対3ミニゲーム
		スマイルクラブ	11	67	通年 障害者施設や老人施設などの訪問・交流活動
	④ ボランティア、サークル支援活動業務	お化け屋敷実行委員会	0	0	お化け屋敷の企画運営
		ボランティア交流会	0	0	こんにやく作り体験(根郷地区まち協との連携)
		子育て応援サポーター	0	0	はっぴいランチ、くまちゃんクラス幼児見守り、将棋教室補助など
		ゴミゼロ運動 こんにやく作り	1	5	根郷地区まちづくり協議会との連携
	⑤ 地域交流・世代間交流活動業務	ともいきランチ 収穫祭	1	6	根郷地区まちづくり協議会との連携
		赤い羽根共同募金活動	0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携/しおり作成
		高齢者施設訪問	0	0	高齢者施設の敬老会やオレンジカフェなどへの参加
共同募金活動等		0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携	
まち協芋ほり等		0	0	根郷地区まちづくり協議会との連携	

	ラン伴	0	0	南部包括との連携/認知症啓発活動
	根郷福祉まつり	0	0	根郷社会福祉協議会や各種団体との連携
	Christmas concert	0	0	家族で参加できるオーケストラコンサート
	ボランティアの受け入れ	0	0	南部地域福祉センターとの連携・共同企画
	ともいきマルシェ	0	0	事業部内および高齢者施設との連携

(4)南部児童センター 主な行事実施状況

月	行事内容
4月	ひよこタイム(1日2回開催)スタート
5月	こいのぼりプロジェクト工作
6月	
7月	ゆりかごタイム(毎週水曜日)スタート、幼児水あそび(7/9、16、29)
8月	幼児・小学生水あそび(8/6、20)、スマイルクラブ 案内表示板取付(8/22)
9月	パラバルーン(毎週金曜日)スタート
10月	「おめでとうウィーク(お誕生会)」スタート
11月	巧技台あそび(毎週木曜日)スタート
12月	楽器あそび、パネルシアター、布あそび(隔週火曜日)スタート ゆりかごタイム・栄養士相談(12/8)、松ぼっくりツリーづくり(12/12)、 クリスマスツリー点灯(12/12)、「クリスマスウィーク」(12/21~25)、 小学生フロアカーリング大会(12/23)、ひよこタイム・特別バージョン(12/24)
1月	小学生書き初め展(1/13~2/10)
2月	節分ひよこタイム特別バージョン(2/3)小学生スノードームづくり(2/27)
3月	小学生フロアカーリング大会(3/24)スマイルクラブこんにやく作り(3/25)おめでとう会(3/29)

(5)子育て相談

(件)

	子育て支援	発達相談	家庭問題	就園相談	情報提供	
					あそび場	医療機関
子育てコンシェルジュ	15	1	2	5	1	3
インストラクター	43	25	3	2	0	0
計	58	26	5	7	1	3

※子育てコンシェルジュ巡回相談日

4月7日、6月2日、7月6日、8月4日、9月1日、11月9日、1月12日、

1-2 学童保育所

(1) 登録・利用状況(開所日数290日)

(人)

	定員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数
根郷学童保育所 (対象学年1年～3年)	55	706	9,648	33.8
第二根郷学童保育所 (対象学年1年～6年)	60	528	6,107	21.1
和田学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	265	3,463	11.8
弥富学童保育所 (対象学年1年～6年)	50	232	3,066	10.5
寺崎学童保育所 (対象学年1年～3年)	60	834	10,299	35.2
大崎台学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	382	4,416	15.1
山王学童保育所 (対象学年1年～6年)	50	434	5,939	20.4
全学童計	350	3,381	42,938	147.9

※新型コロナウイルス感染症対応のため臨時休所

根郷学童 7日間(7/28、7/29、1/24、2/8、2/9、2/10、2/12)

第二根郷学童 3日間(2/9、2/10、2/12)

山王学童 2日間(5/7、8)

※荒天(台風)のため臨時休所

全学童保育所 1日間(10/1) ・市内小学校臨時休校

※荒天(大雨)予報のため臨時開所

弥富学童保育所 1日間(12/8)

※荒天(降雪)予報のため臨時開所

全学童保育所 2日間(1/7、2/14)

○緊急事態宣言等による利用の自粛

保育体制が整う家庭への利用自粛要請。申請により利用料を減免

(人)

学童名	2021年9月		2022年2月		2022年3月	
	登録者数	利用自粛者数	登録者数	利用自粛者数	利用自粛者数	利用自粛者数
根郷	57	6	53	7	55	5
第二根郷	42	8	37	11	37	11
和田	23	6	29	2	31	2
弥富	19	0	29	12	28	9
寺崎	70	12	67	10	67	5
大崎台	29	7	20	5	19	5
山王	40	9	21	4	21	2
合計	280	48	256	51	258	39

(2)学童保育所の主な行事

月	根郷学童	第二根郷学童	和田学童	弥富学童	寺崎学童	大崎台学童	山王学童
4月	よろしくね会	ウエルカムパーティー		ウエルカムパーティー	新入所者を迎える会	リフレッシュ計画	ウエルカム壁面作り
5月	ひまわりを育てよう	室内装飾		紫陽花を咲かせよう		地震避難訓練 楽しもう 大崎台生活	
	不審者対応訓練			不審者対応訓練			
6月	七夕週間		認知症サポーター養成講座		地震避難訓練 クイズです レッツ 工作	クイズ王は君だ	ミニトマトのプランター植えつけ
				スライム作り			
7月			地震避難訓練	風鈴作り	寺崎まつり	スライム作り	段ボールハウス作り
8月	石けんをつくろう		水遊び	水鉄砲遊び	水遊び	ちよいこわ、お楽しみ会	新聞紙工作 ピアボン トーナメント大会
	色水遊び シャボン玉で遊ぼう	こわいおはなし会					
9月	マフラーを編もう	機織り チャレンジ		地震避難訓練		紙飛行機 選手権	プラ板作り
	地震避難訓練			ぴったりねえ、 ボール投げ	自由工作		
10月	秋まつり	謎解きをしよう		ストラップ作り	地震避難訓練 くつしたまい リレー	プラ板制作	宝探し
11月	木の実で 工作しよう	マスクケースを 作ろう	火災避難訓練		全集中！ 鬼も柱も 探し出せ	ダンボール 工房	どんぐりで 遊ぼう
			変身 ファッション ショー	冬空アート			
12月	年末ビンゴ大会		紙飛行機を 遠くまで 飛ばそう	みんなで 作ろう！ 弥富カレンダー 年末 ビンゴ大会	認知症サポーター養成講座		ピアボン大会
					火災避難訓練		
1月	認知症サポーター養成講座		スノードーム 作り	大きなすごろく 作って遊ぼう	火災避難訓練 ねりねり あわあわ	大崎台 すごろく	お正月遊びを しよう
	作って遊ぼう	名人は誰だ					
2月	鬼のお面を 作ろう	ありがとうって 伝えよう	非常時対応 訓練 (公民館合同)	ランプ作り スーパーボール 作り	プラバン やるよー	バルーンアート	進級お祝い会 (準備) 豆まきをしよう
	火災避難訓練						
3月	大きくなったね お祝いしよう	みんなで ビンゴ	ありがとうの会 (6年生 送別会)	覗いてみよう！ 不思議な世界 6年生を 送る会	またねの会 ビンゴ大会	お宝さがし アドベンチャー ゲーム	進級お祝い会

## 1-3

## (1) 職員状況

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	42(29)	23(21)	4(1)	4(3)	12(7)	56(45)
所長	1(0)	・	1(0)・	1(0)	・	1(0)
主任	1(0)	・	1(0)・	・	・	2(0)
アドバイザー	・	・	0(1)	・	・	0(1)
インストラクター	7(5)	0(1)	1(0)	・	1(0)	8(6)
学童支援員	27(17)	8(7)	・	1(1)	9(8)	24(16)
学童支援員補助	8(8)	11(11)	・	・	4(4)	10(10)
事務員	2(0)	1(2)	2(0)	1(2)	2(0)	1(0)
用務員	2(2)	・	・	・	・	2(2)

## (2) 職員の研修状況

全 体 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
	職員全体研修研修(悉皆)	中止		実践発表会	延期

学童支援員認定資格研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/29	第4期受講者(千葉市)	1	11/18、 22、29、 12/2	第9期受講者(千葉市)	1

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
4/2、5、6	新任職員研修	1	10/28	権利擁護研修	1

外 部 研 修		
月日	研修名	参加人数
7/8	植草学園大学・植草短期大学公開講座「発達障害等のある子どもの理解」	3
9/22	佐倉市職員研修「子どもたちと向き合う力」	3
9/27	WEB 接遇講習会(保育士向け)	1
10/1～ 12/31	e-ラーニングメンタルヘルス講座(ラインケア)	1
10/5、7	千葉県資質向上研修「放課後児童クラブにおけるケガ・病気・感染症対応」	2
10/15	WEB ハラスメント防止講習会(管理職向け)	1

10/18	「今、求められる学校の感染症対策に関するYouTubeセミナー」	1
11/5	千葉県資質向上研修「発達障がい児などの子どもへの支援」	1
11/10	WEB 接遇講習会(管理職向け)	1
11/5、12/5	佐倉市人権教育講座「いじめに対する大人の認識を考える」	6
11/10	WEB 佐倉市学童保育所制作遊び研修「子ども達が工夫する音の楽しみ方」	2
11/24	WEB 苦情解決研修	2
12/1	保育博 2021(東京都)	1
12/6	WEB 苦情解決研修	2
12/10	千葉県資質向上研修「いじめや虐待への対応」	2
12/12	WEB 研修	1
1/26、2/1	千葉県資質向上研修「放課後児童クラブにおける遊び」	2
2/6	全国子ども健全育成リーダー養成セミナー(zoom)	1
3/12	佐倉市保育全体研修「機嫌のよい職場づくりを目指して」	1

### (3) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6月9、10、29、30日	明德短期大学	保育士	4
7月28、30日	帝京平成大学	〃	2
8月16日～31日	敬愛短期大学	〃	2
延べ32日間	3養成機関		8

( 佐倉市障害者生活支援センターアシスト / 佐倉市南部地域包括支援センター )

## 概況

スローガンを前年度に引き続き、「つなげよう！広げよう！ともいきの輪」とした。コロナ禍の中での地域とのつながりや、個別支援を地域の中で考えることを意識した1年であった。

## ○数値目標

包括では、市で定められた回数の委託事業が開催できるよう、感染症対策を徹底し取り組んだ。アシストでは、訪問が難しい場合は電話モニタリングを積極的に行い、継続した相談業務ができるよう状況把握に努めた。また実施加算を意識して取るよう毎月全体で確認を行い、加算件数が大幅に増加となった。

## 【アシスト】

計画相談（児・者）	年 270 件 → 270 件
モニタリング件数	450 件 → 488 件
障害区分認定調査件数	120 件 → 164 件
実施加算の給付件数	120 件 → 250 件
集中支援加算の給付件数	40 件 → 48 件

## 【南部包括】

介護予防教室（としとらん塾）	12 回 → 12 回
介護者教室	4 回 → 4 回
予防プラン給付件数	年 1104 件 → 1137 件
自立支援型個別ケア会議	年 10 件 → 10 件
地域ケア圏域推進会議	年 2 回 → 2 回

## 【アシスト】

## ○精神疾患のある方への専門的支援の提供

アシストの相談件数の8割が精神疾患のある方からの相談であることから、職員の相談支援の質の向上と、担当職員が1人で抱え込むことがないように事例検討会を実施した。アシスト主催の合同事例検討会は、隔月で年5回開催した。市内関係機関に参加を呼びかけ、「精神障害」「8050」「児童」「虐待」などテーマを設定し、世帯全体の課題を多職種で検討する場となった。ワークショップかぶらぎとの事例検討会は4回開催し、そのうち1回は順天堂大学 四方田清 客員教授にも参加していただいた。また、アシスト内事例検討会は毎月を目標としたが、年6回の開催となった。職員同士で話し合い、対応の振り返り、意見を出し合える場として強化を図った。

支援者会議の開催は、多事業所が関わるケースで特に意識して行うようにしてきた。次年度はさらにオンライン会議が実施できるよう整備する。

## ○法人内連携の強化

障害福祉サービスと介護保険の橋渡し、相談事業の周知、法人内の横のつながりを目的に、勉強会等を進めてきた。はちす苑との勉強会は年2回開催した。包括、アシスト、ケアプランの合同で家族支援や制度上の違いなどお互いの専門性を高める機会となった。共生型連携連絡会は、10月に開催し、共生型サービスや高齢障害者への支援に関する情報共有や、現状と課題を話し合った。

入所施設との関係は、アシストの周知を兼ねて、めいわでは相談支援事業について、リホープでは成年後見制度について勉強会を行った。

## 【南部包括】

## ○地域のニーズ把握と資源の発掘

当年度から佐倉市の地域ケア会議の進め方が変更となり、各包括で自立支援型地域ケア個別会議を年10件、地域ケア圏域推進会議を年2回が定められた。個別支援から地域課題を考える意識を持つようになり、さらに圏域推進会議では専門職と地域の方が一緒になって意見交換を行う場となった。また、民生児童委員地区定例会や根郷地区社協のちょこっとサービス定例会には毎月参加させて頂き、そこで地域の課題やニーズを聞くことが多かった。

多職種連携の視点からは、前年度に引き続き、医療介護連携会「さきいか」において、医療と介護の連携に関わる課題について話し合いを重ね、研修会を2回開催した。また地域ケア会議に、医療職・薬剤師・リハ職等が助言者として参加することが求められるようになり、協力して頂ける助言者を広げてきた。包括は専門職と地域のつなぎ役として、挙げた地域課題を専門職や地域の方と共に考え

ていけるよう取り組んでいく。

#### ○地域住民への情報提供・啓蒙活動

包括の周知を目的に、YouTube 配信を行った。内容は「認知症」「介護保険」「福祉用具」の年3回ではあったが、新たな取り組みとなった。包括だよりは年4回発行し、予定している事業の告知の他、毎回介護予防の記事を取り入れた。公共施設や郵便局、薬局、近隣のスーパー等へ掲示して頂いたり、出前講座や地域の通いの場での配布を行ったりした。各自治会への周知は、コロナ禍で思うようにできておらず次年度の課題である。

出前講座のリストを年度初めに配布し何件か依頼があったが、新型コロナの影響により中止となることも多かった。介護予防ボランティア交流会は2年ぶりに開催し、住民主体の介護予防について情報交換を行った。

介護予防事業においては、愛光理事である順天堂大学 松山毅 前任准教授にご協力頂き、学生に「としとらん塾」を企画してもらった。高齢者と学生の交流は新たな試みとなった。

認知症関連事業では、南部圏域の7学童全てにおいて、認知症サポーター養成講座を開催した。学童の協力なくしては達成出来なかったことだが、今後も地域の方に認知症について伝える機会は積極的に考えていく。

#### ○精神疾患のある高齢者や介護者への専門的支援の提供

8050世帯や精神疾患を抱える高齢者の相談が増えているため、対応力の向上を目指した。アシストとの合同会議やワークショップかぶらぎとの事例検討会の場で、一緒に検討し助言をもらった。また職員全体のアセスメントを深めていけるよう、包括内での事例検討会は毎月時間を設けた。

#### 【総合相談センター共通項目】

##### ○災害時の事業継続

総合相談センター全体で担当を決め、災害対応の話し合いを重ねた。そこで包括、アシストで関わっている要支援者リストの作成や災害時の個別支援、マニュアルの整備、見直しなど全体での共有を進めてきた。次年度も引き続き取り組んでいく。

新型コロナ感染症の流行により、感染症への対応力の強化を意識する1年でもあった。感染症や災害が発生した場合であっても、地域での相談事業が継続して行えるよう対策を講じていく。

(所長 森 由美子)

## 【アシスト】

### 1-1 業務内容

- 基幹相談支援センター事業並びに業務
    - ①総合的・専門的な相談支援の実施
    - ②地域の相談支援体制の強化の取組
    - ③地域移行・地域定着の促進の取組
    - ④権利擁護・虐待の防止
  - 生活全般の相談
  - サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
  - 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
  - サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催
  - 利用者負担の上限額管理
  - 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
  - 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助  
人間関係、健康管理、金銭管理等
  - ピアカウンセリング
  - 専門機関の紹介
  - 総合支援協議会の運営
  - 相談員との連携に関すること
- 《社会資源の改善・開発に向けた調整》
- ①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場
  - ②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。
  - ③主な機能
    - 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
    - 困難事例への対応の在り方に関する競技・調整
    - 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
    - 地域の社会資源の開発、改善
    - 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
    - その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
    - 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
    - 相談支援事業者間の連携

1-2 障害者相談支援事業（計画相談は含まない）

(1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	38	4	0	7	24	7	1	3
5月	25	4	0	6	14	3	0	3
6月	40	5	0	8	25	3	0	5
7月	39	3	0	6	25	3	0	6
8月	39	5	0	3	26	2	0	7
9月	40	6	0	2	28	2	1	4
10月	43	5	0	3	27	3	2	8
11月	42	3	0	3	28	3	0	8
12月	51	3	0	7	29	3	0	12
1月	38	3	0	8	26	3	0	2
2月	33	3	0	8	18	0	2	6
3月	35	2	0	4	25	1	0	6
計	463	46	0	65	295	33	6	70

(2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	9	4	4	31	0	2	43	8
5月	6	4	4	39	0	0	45	12
6月	16	3	1	46	0	1	51	11
7月	7	4	6	50	0	0	56	14
8月	5	8	2	44	0	1	46	8
9月	14	3	5	65	0	1	52	7
10月	12	5	8	54	0	0	41	4
11月	4	2	8	48	0	0	66	14
12月	9	5	5	65	1	2	66	16
1月	8	4	5	41	1	4	92	18
2月	8	3	2	35	0	1	33	8
3月	7	4	3	36	0	0	25	15
計	105	49	53	554	2	12	616	135

(3) 支援内容数（重複あり）

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	日程調整等軽易な相談	計
4月	63	12	26	8	5	22	5	12	7	1	0	46	35	242
5月	47	15	35	12	0	17	4	6	7	0	0	51	22	216
6月	41	12	32	19	5	22	10	16	19	0	3	44	19	242
7月	38	18	20	23	2	22	10	13	27	0	4	64	19	260
8月	43	9	12	20	2	11	6	3	13	0	5	51	17	192
9月	30	11	18	34	3	32	17	19	13	11	5	79	21	293
10月	46	14	25	21	12	23	4	6	14	1	2	41	33	242
11月	51	7	28	17	3	15	8	13	15	1	0	72	51	281
12月	60	7	37	21	8	26	12	18	21	13	2	90	28	343
1月	68	22	33	19	16	45	14	17	6	4	20	64	35	363
2月	21	17	4	10	3	28	6	13	12	1	7	55	13	190
3月	31	15	12	16	2	18	9	13	5	2	0	39	27	189
計	539	159	282	220	61	281	105	149	159	34	48	696	320	3,053

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	15	12	17	9	10	18	16	14	14	12	16	11	164

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
計画(者)	18	10	16	11	15	20	21	22	21	11	23	26	214	270
計画(児)	8	4	4	4	5	5	3	2	8	1	2	10	56	
モニタリング(者)	30	30	33	23	41	54	57	26	28	24	43	45	434	488
モニタリング(児)	1	8	6	2	10	3	1	7	2	3	4	7	54	
合計	57	52	59	40	71	82	82	57	59	39	72	88	758	

【南部包括】

1-1 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

1-2 利用状況

(1) 介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
直営件数	88	88	85	92	92	91	95	93	99	107	102	104	1136
委託件数	168	166	162	162	160	155	162	160	151	143	146	145	1880
計	256	254	247	254	252	246	257	253	250	250	248	249	3016

(2) 総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	701	2888

(3) 方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・日	総数	%
	業務時間中	業務時間外	祝日		
来所	204	1	37	242	35%
電話	403	5	34	442	63%
その他	12	1	4	17	2%
合計	619	7	75	701	100%

(4) 内容別相談件数（重複あり）

内容	件数	内容	件数
1. ねたきり高齢者	2	11. 権利擁護・成年後見制度	9
2. ひとり暮らし高齢者	144	12. 消費者被害	1
3. 認知症高齢者	110	13. 高齢者の虐待（疑いも含む）	5
4. 介護に関する事柄	13	14. 施設入所	43
5. 介護・福祉サービス	493	15. 介護方法（技術）	6
6. 保健・医療	48	16. やむを得ない事由による措置	0

7. 精神的支援	25	17. 苦情全般	6
8. 生活支援	48	18. 家族間調整	12
9. 状況確認	157	19. 個人の悩み事	8
10. 関係機関調整	51	20. その他	27

## 2 運営管理

### 2-1 職員状況

	2021.4.1 現員数	2020.4.1~2021.3.31				2022.3.31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総 数	14(1)					14(1)
所長(兼務)	1					1
【アシスト】 管理者(兼務)	1					1
相談支援専門員	5(1)					5(1)
【南部包括】 管理者(兼務)	1					1
主任ケアマネジャー	1					1
社会福祉士	5					5
看護師	1					1
理学療法士(兼務)	1					1
生活支援コーディネーター	1					1
ケアマネジャー	1					1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

### 2-2 職員研修の状況

法人研修			
月・日	研修名	月・日	研修名
10/28	法人 権利擁護研修		
施設外			
月・日	研修名	月・日	研修名
5/13	精神疾患の理解と障害福祉サービスから介護保険への切れ目のない支援について(ア、包)	5/27	対人援助職のメンタルヘルス(ア、包)
6月~2月	TEACCHプログラム研修(全6回)(ア)	6/17	在宅介護におけるリフト導入の選定とポイント
6/18	介護支援専門員研修	6/20	ケアプラン作成に必要な薬の知識
6/29	コロナ禍におけるアトリーチについて(ア、包)	7/16	佐倉市成年後見支援センター地域連携ネットワークづくり研修会(ア、包)
7/16	障害者雇用促進のための地域意見交換会(ア)	7/28	生活支援体制整備事業市町村研修会

8/4	専門職として「聴く」ということ	9/8	看取りへの対応の充実～認知症の人の 思いに寄り添う～
9/14、15	認知症地域支援推進員初任者研修	10/5	キャラバン・メイトスキルアップ研修（小学生対象）
9/14 1/14	SCフォローアップ研修	10/14	地域づくり人材養成研修
10/21	地域ケア会議に係る市町村研修会	10/21	千葉市在宅医療推進連絡協議会講演会 「フレイル予防」
10/26	認知症林ターステップアップ講座 指導者養成研修	11/7	認知症初期集中支援チーム員研修
11/7	めまいによるふらつき改善に 必要な運動を知ろう	11/9	介護予防・日常生活支援総合事業 に係る市町村研修会
11/19	デイサービスにおける機能訓練の方法	11/24	脳神経疾患の地域医療・介護の会
11/30	すけっと主催 いんば圏域福祉関係者 合同研修会（ア、包）	12月	地域包括支援センター職員 現任者研修
12/8	千葉県キャラバンメイト・スキルアップ研修	12/10	千葉県キャラバンメイト養成研修
12/8～10 2月	相談従事者現任研修（ア）	12/6、 14、21	高齢者虐待防止対策 現任者研修
12/19	認知症にかかわる専門職の 多職種協働研修	1/25	高齢者虐待防止「これって虐待？」
1/28	初期集中支援チーム員フォローアップ研修	2/1	サービス管理責任者更新研修（ア）
2/9	障害者虐待研修（ア）	2/10	障害福祉基礎研修（ア）
2/17	千葉県高齢者虐待防止対策研修 （専門研修）	2/17	ケアマネジメント～新しい居宅サービ ス計画書について～
2/20	うつ病の認知行動療法	2/21	生活支援コーディネーター圏域別 情報交換会
2/25	認知症で独居の方への支援	2/26	認知症疾患医療センター研修会
2/28	精神障害にも対応した地域包括ケ アシステムの構築（ア）	3/1	モチベーションと動きを引き出すテクニック
3/5	千葉県ケアマネ協議会研修会	3/14	介護予防のための地域ケア個別 会議研修（ケアマネ向け、助言者向け）
3/18	根拠のある自立支援介護型 ケアプランとは？	3/18	後見事務における意思決定支援に ついて

※（ア）…アシスト職員

2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議	週1回	【アシスト】	
アシスト事例検討会	月1回	佐倉市障害者総合支援協議会	年2回
アシスト主催合同事例検討会	隔月	生活支援部会	随時
合同会議	月1回	佐倉市障害福祉関係機関連絡会	年2回
包括会議	月1回	佐倉委託相談支援事業所連絡会	年8回
包括ケース検討会	月2回	佐倉市相談支援事業所間事例検討会	毎月
地域福祉事業部実績会議	月1回	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議（実務者会議）	随時
		【南部包括】	
		管理者会議	月1回
		5包括事例検討会	月1回
		生活支援コーディネーター定例会	月1回
		認知症地域支援推進員会議	月1回
		認知症初期集中支援チーム員会議	月1回
		民生児童委員定例会	月1回
		医療介護連携会議「さきいか」	随時
		介護予防担当者会議	随時

2-4 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実習対象資格等	人数
6.21～7.13（15日間）	城西国際大学	精神保健福祉士	1
6.9～6.18（各3日間）	二葉看護学院	看護師	2
7.26～8.27（24日間）	日本福祉大学	社会福祉士	1
8.30～9.24（各8日間）	江戸川大学おおたかの森専門学校	社会福祉士	2
12.6～12.24（12日間）	NHK学園	社会福祉士	1
3.22～4.6（6日間）	新国際福祉カレッジ	社会福祉現場実習	1

## 概況

コロナ禍の中、改めて地域福祉センターの役割と使命として、スローガンを『地域の方が生きがいを持って利用できる地域福祉の拠点の構築』としたが、コロナの関係で事業、イベント等実施できなかったものがあった。感染症対策としては、前年度に引き続き利用制限をするとともに、館内の消毒を徹底し、感染リスクの回避に努めた。本年度も、年間80台の運行を予定している大型バス運行業務が、コロナの関係で2台のみの運行となり、当業務の予算に係る余剰金を施設の修繕に利用することができたため、今までできていなかった修繕関係に充てることができた。センターの開所状況については、コロナの関係でセンターが休所となることはなかったが、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、部屋の利用の人数制限、センター内での飲食の禁止は1年度間続いた。

## ○本年度数値目標

- ・利用者数 本年度 21,148人 前年度 15,037人 前年度比 140.6%
- ・センターでのボランティアの受入れ 年間51人 ボランティアの相談件数 年間21人

## ○新規利用者の獲得

- ・認知度の向上 新たにセンターの案内(チラシ)を作成し、山王地区、大篠塚地区、小篠塚地区に回覧したが、あまり効果はみられなかった。風呂の営業に関しては、1月にのぼり旗5本を作製し『お風呂あります』を地域にPRした。のぼり旗を見ての問い合わせも増えてきており、風呂の利用につながることを期待している。1月下旬にまん延防止等重点措置の適用により風呂の営業が中止となったが、3月下旬より重点措置が解除となり、風呂の営業も再開となった。
- ・年間20人の新規利用者の獲得 新規利用券作成者は年間15人であったが、継続して利用される方の人数が少ないため、リピーターで利用される方を増やしていきたい。
- ・利用者のニーズに沿った移送サービスの運行 1日平均8.6人(往路、復路で重複あり)

## ○時代に即した生きがいづくりの支援

- ・介護予防事業の充実 ヨガ、自力整体教室は大広間で人数制限(定員30人)をして開催。自力整体教室は、30人以上の参加があり、2部制とした。また、ヨガや太極拳教室など、健康志向を重視した活動は継続して人気があり、人数制限をして実施した。

## ○ともいき事業の充実と拡充

- ・はちす苑、児童センター、総合相談との連携 はちす苑との共同事業であるサロン・ド・ともいきについては、11月から再開をした。コロナの関係で約1年7ヵ月以上休止をしていたため、参加利用者の顔ぶれも多少変わったが、以前からのボランティアも継続して参加し、音楽体操や脳トレ他、いろいろな活動を提供し、参加者の介護予防等につなげた。1月下旬よりまん延防止等重点措置の適用により、再度事業が休止となった。
- ・世代間交流事業の企画は、コロナ禍のため、開催することが難しかった。

## ○新規講座(教室)の開設

- ・年間1講座(教室) クリスマスリース作り2回、お正月のお飾り作り2回の開催を実施。参加者からたいへん好評であった。

## ○災害時の事業継続

- ・新規マニュアルによる訓練には至っていないが、当年度は3月に南部保健センター総合での合同避難訓練を実施。

## ○その他

- ・本年度実施した修繕関係  
照明器具のLED化、雨漏り対策(防水シートの敷設、外壁の張替、屋根の補修)、ボイラー室内不具合交換工事他。
- ・定期利用団体との懇談会は、コロナ禍の中の開催であったが、葛西広子第三者委員に参加していただき、20団体20名の参加があった。

(所長 横川民夫)

【南部地域福祉センター】

1-1 業務内容

○事業並びに業務

1. 各種相談事業
2. 高齢者交流事業
3. ふれあいサロン事業
4. ボランティアセンター運営事業
5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
6. 大型バス運営事業
7. 愛光たすけあい移送サービス
8. 浴室運営事業
9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数 308日 延べ 23,371人)

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	1,825	3,034	1,171	341	3,669	434	588	865	961
前年	1,032	903	460	18	1,636	62	461	466	555
B棟	研修室	和室	ボランティア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	7,907	293	675	346	1,262				
前年	7,656	1,517	617	209	480				

※移送サービス(当年、実施内容の変更により往復2名でカウント)

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	2台
利用人数	58人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
カラオケ	第2第4金曜日		0人
踊り	毎週木曜日	藤塚早苗氏	10人
民謡	第1第3木曜日	會田和則氏	11人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子氏	8人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	10人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	10人
太極拳	第1第3水曜日	塚本景次氏	50人
自力整体	第1火曜日・第3土曜日	秋田美智子氏	106人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子氏	11人

(4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	0	0
高齢者交流事業（教養教室のみ）	142	1,709
趣味の教室	9	32
地域福祉のための講座	4	29

2-1 職員状況

	2021.4.1 現員数	2021.4.1～2022.3.31				2022.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	10(7)	5	0	0	5	13(10)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	2	0	0	0	0	2
管理員	4	3	0	0	3	6
保健師	2	0	0	0	0	2
用務員	1	2	0	0	2	2

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

2-2 会議等(定例会議)

施設内		施設内	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	5	指定管理ミーティング	6
理事会	6	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	4
評議員会	2	佐倉市ボランティアセンター定例会議	4
施設長会議(含臨時)	4	地域食堂委員会	11
地域共生プロジェクト会議	5	実績会議	8
リスクマネジメント委員会	3	業務執行会議	13
ボランティア委員会	10		

3 共同事業の報告

3-1

事業名	回数	人数
アクティブシニア事業	71	1,211

3-2 児童センターとの共同事業

事業名	回数	人数
世代間交流事業	0	0

3-3 はちす苑との共同事業

事業名	回数	人数
サロン・ド ともしき	9	65